

Antenna House PDF Driver V8.0 プリンター操作説明書

目次

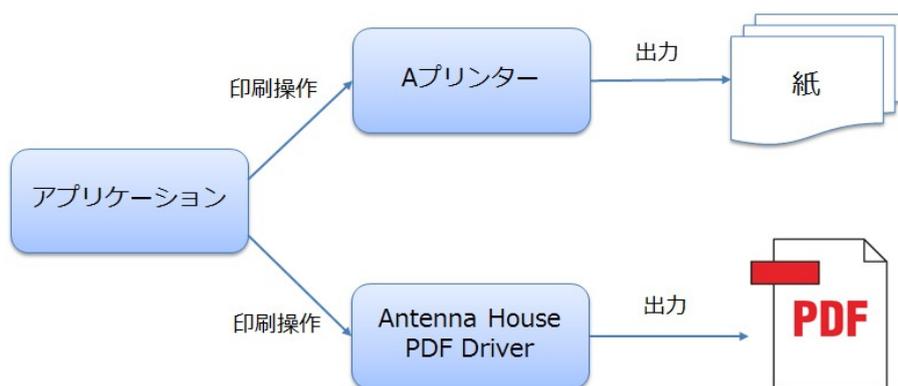
Antenna House PDF Driver V8.0 プリンター操作説明書	1
目次.....	2
1. Antenna House PDF Driver について	4
1.1. おもな PDF 出力機能	5
1.2. 動作環境.....	8
2. 注意事項・制限事項.....	9
2.1. 印刷品質について	9
2.2. 制限事項.....	9
2.3. メッセージ表示について	12
3. PDF Driver を利用して PDF を出力する方法	13
4. 印刷設定ダイアログについて	16
4.1. ダイアログの外観	16
4.1.1. 設定タブ	16
4.1.2. バージョンタブ	17
4.2. プリインストールされる設定.....	18
4.3. 印刷設定の新規作成・編集・削除.....	19
4.3.1. 新規作成	19
4.3.2. 編集.....	22
4.3.3. 削除.....	24
5. 印刷設定詳細画面について	25
5.1. 一般	25
5.2. PDF バージョン.....	28
5.3. 色.....	31
5.4. 圧縮.....	34
5.5. フォント	37
5.6. セキュリティ	39
5.7. 透かし	43
5.8. 開き方	46
5.9. 情報.....	49
6. PDF の規格.....	50
6.1. PDF/A について	50
6.2. PDF/X について	51
7. Microsoft Office アドイン機能について.....	52
7.1. Office アドイン機能の概要.....	52
7.2. 対応アプリケーション	52
7.3. アドインボタンの場所.....	53

7.4.	アドインボタンの登録と解除.....	53
7.5.	Office アドインの設定オプションについて.....	54
7.5.1.	Word.....	54
7.5.2.	Excel.....	58
7.5.3.	PowerPoint.....	60
7.6.	Office アドイン機能の制限事項.....	62
8.	商標と著作権情報.....	64
8.1.	商標情報.....	64
8.2.	第三者製ライブラリー著作権情報.....	64
	履歴.....	69

1. Antenna House PDF Driver について

Antenna House PDF Driver (PDF Driver) は、Windows の Graphics Device Interface (GDI) コンポーネントを利用して動作する仮想プリンタードライバーです。紙に印刷するプリンターと同様、アプリケーションの印刷ダイアログで PDF Driver を選択して印刷ができます。出力結果が紙ではなく、PDF ファイルとなります。

PDF Driver で作成される PDF ファイルは、一部の機能を除き、ISO32000-2 に準拠しています。



1.1. おもな PDF 出力機能

- PDF2.0 での出力に対応 ***V8.0 NEW**

PDF ファイルの PDF バージョンを指定して出力することができます。

「1.3」～「1.7」の間のバージョンに加えて、V8.0 では新たに「2.0」の指定が可能です。

[参照：印刷設定詳細「PDF バージョン」](#)

- PDF セキュリティ

印刷や文書の編集を制限するセキュリティ付き PDF を作成します。出力対応している暗号化レベルは、40bit RC4、128bit RC4、128bit AES、256bit AES の 4 種類です。暗号化レベルは、「PDF バージョン」で選択された PDF のバージョンにより自動的に決定されます。

「PDF バージョン」での指定が「2.0」の場合、PDF2.0 の仕様にしたがって、パスワード文字列入力において Unicode の使用が可能です。(*V8.0 NEW)

[参照：印刷設定詳細「セキュリティ」](#)

- Web 表示用に最適化

Web 表示用に最適化された PDF ファイルを出力します。Web 表示用に最適化した PDF ファイルをインターネット上で表示させた場合、ページ単位でダウンロードが行われるため、ページ単位に表示が行われます。(ただしサーバー側において、ページ単位にダウンロードを行うような機能が必要です)

Web 表示用に最適化されていない PDF ファイルの場合、すべてのデータが閲覧端末にダウンロードされるまで表示は行われません。

[参照：印刷設定詳細「一般」](#)

- 出力ファイル名の連番付け

出力先にすでに同名のファイル名を持つ PDF ファイルが存在する場合に、上書き保存を行わず、ファイル名の末尾に連番を付与して別ファイルとして保存するオプションです。

[参照：印刷設定詳細「一般」](#)

- PDF/A-1b

PDF/A-1 は ISO 19005-1 で規定されており、電子文書の長期保存を目的とした仕様です。PDF Driver では、PDF/A-1b 規格に準拠した PDF 出力が可能です。

[参照：印刷設定詳細「PDF バージョン」](#)

[参照：PDF の規格](#)

- PDF/A-2b

PDF/A-2 は ISO 19005-2 で規定されており、電子文書の長期保存を目的とした仕様です。PDF Driver では、PDF/A-2b 規格に準拠した PDF 出力が可能です。

[参照：印刷設定詳細「PDF バージョン」](#)

[参照：PDF の規格](#)

- PDF/X-1a、PDF/X-3、PDF/X-4

PDF/X は ISO 15930 で規定されており、印刷用のデータ交換を目的とした規格です。

PDF Driver では、PDF/X-1a:2001、PDF/X-1a:2003、PDF/X-3:2002、PDF/X-3:2003、PDF/X-4:2008 の各規格に準拠した PDF 出力が可能です。

[参照：印刷設定詳細「PDF バージョン」](#)

[参照：PDF の規格](#)

- PDF バージョンの指定

出力する PDF ファイルの PDF バージョンを「1.3」～「2.0」の間で指定可能です。

[参照：印刷設定詳細「PDF バージョン」](#)

- 黒を K=100%に置き換え

PDF/A、PDF/X で出力時に CMYK で色変換を行う場合、黒を「K=100%」に置き換えて PDF 出力を行います。「K=100%」に置き換える場合にこれが適用されるのは、テキストと図形（パス）です。画像には適用されません。

[参照：印刷設定詳細「色」](#)

- グレースケール、モノクロ変換

これらのオプションが指定されたとき、カラーの画像やテキストをグレースケールまたはモノクロに変換し PDF 出力を行います。

- ・ PDF ファイルを透かしとして指定し PDF 出力を行う場合、透かし部分はグレースケール、モノクロ変換は行われません。

[参照：印刷設定詳細「色」](#)

- 画像圧縮

画像データに対しダウンサンプリングや圧縮方法の選択、JPEG / JPEG2000 圧縮時の画質設定を行うことにより、出力される PDF ファイルサイズを抑えることができます。

[参照：印刷設定詳細「圧縮」](#)

- フォントの埋め込み

フォントを埋め込んだ PDF を作成します。

[参照：印刷設定詳細「フォント」](#)

- **画像・テキスト透かし**

任意の画像ファイルや PDF ファイル、あるいは文字列を透かしとして挿入した PDF ファイルを出力します。

[参照：印刷設定詳細「透かし」](#)

- **開き方設定**

PDF ファイルを表示させたときの最初の状態となるページレイアウトや表示倍率、表示ページ番号などを設定します。

[参照：印刷設定詳細「開き方」](#)

- **文書情報**

PDF ファイルの「文書のプロパティ」である「タイトル」、「作成者」、「サブタイトル」、「キーワード」を設定します。

[参照：印刷設定詳細「情報」](#)

- **設定ファイル名の埋め込み**

PDF 出力に使用した印刷設定の設定ファイル名を文書情報内に独自のキーで埋め込みます。

[参照：印刷設定詳細「情報」](#)

1.2. 動作環境

対応するオペレーティングシステム (OS) ※1 ※2	Microsoft Windows 10 (32bit/64bit) / Windows 11 日本語版 Microsoft Windows Server 2016 / 2019 / 2022 日本語版
CPU	32bit : Intel Core2、Atom プロセッサ又は上位互換のプロセッサ。 2.0GHz 以上推奨 64bit : AMD64 互換のプロセッサ。2.0GHz 以上推奨
RAM	上記 OS が必要とする最低メモリに加えて 1GB 以上のメモリ
必要なランタイムライブラリ ※3	Microsoft Visual Studio 2015-2022 Visual C++ライブラリのランタイムコンポーネント

※1 Windows 10 の対応エディションは、Home / Pro / Enterprise / Education

※2 ただし、印刷を行うアプリケーションの動作環境に準じます。

※3 PDF Driver の開発は、Microsoft Visual Studio 2015で行っています。このため、Microsoft Visual Studio 2015-2022 Visual C++ライブラリのランタイムコンポーネントが必要となります。

2. 注意事項・制限事項

2.1. 印刷品質について

PDF Driver は印刷機能を持つすべてのソフトウェアで使用することができますが、動作環境やソフトウェアの仕様などにより、正常に PDF が作成できない、描画状態がオリジナルと異なるなどの現象が発生する場合があります。

弊社では、下記のソフトウェアで印刷テストを行っています。

Microsoft Excel 2016 / 2019 / 2021 日本語版

Microsoft PowerPoint 2016 / 2019 / 2021 日本語版

Microsoft Word 2016 / 2019 / 2021 日本語版

2.2. 制限事項

- (1) PDF Driver の出力結果は、オペレーティングシステム (OS) の種類やバージョンや更新、印刷を行うアプリケーションの更新やバージョンアップにより、更新／バージョンアップ前の結果とは異なる場合があります。
- (2) Adobe Acrobat などの PDF ビューアから PDF Driver を指定し印刷する動作、および印刷結果である PDF ファイルについては保証されません。
- (3) PDF Driver は印刷アプリケーションの動作に依存します。このため、停止しないで動作することは保証していません。停止が問題になるようなサービス等では、上位システムでエラーや停止時の対処また負荷分散などの機能を組み込まれる事を推奨いたします。
- (4) 印刷処理速度や消費メモリ、出力結果の PDF などについて、特定の性能や品質を保証するものではありません。Adobe Acrobat や Adobe Acrobat の「Adobe PDF」を含む他社製品の PDF 生成ソフトウェアと同等の品質や性能を保証するものではありません。
- (5) PDF Driver はネットワークプリンターとしてご利用いただくことはできません。
- (6) 1つのスレッドから同時に2つ以上の印刷を行うようなしくみのアプリケーションにおいて2つ以上のファイルを同時に PDF Driver に対して印刷すると PDF Driver は正しく動作しません。
- (7) 保存ダイアログで「キャンセル」を行った場合、PDF Driver は印刷処理を続行します。最後に PDF ファイルを出力しないことで「キャンセル」とする動作仕様となっています。このため、印刷内容によりキャンセルされるまでに時間がかかる場合があります。
- (8) PDF Driver V8.0 で印刷中にエラーが発生し印刷が中止された場合、PDF Driver V8.0 用の一時フォルダ「C:\Users\ ログインユーザー名\AppData\Local\Temp\AHPD80_temp」に拡張子「.tmp」のファイルが残る場合があります。
- (9) Windows のプリンター一覧に表示されるプリンター名を変更しないでください。一部の機能

が正常に動作しなくなるおそれがあります。

- (10) PDF Driver を使用した場合に作成可能な PDF バージョンは、PDF1.3～PDF1.7 と PDF2.0 です。
- (11) 縦書きや文字が回転されている場合、フォントを埋め込む設定で印刷を行ってください。PDF にフォントが埋め込まれていないとき、文字が元文書とは異なる方向に回転したり、表示位置がずれる場合があります。
- (12) 縦書き文字の出力対応は、MS ゴシックと Arial Unicode MS を基準としています。
- (13) 対応フォントは、True Type、Open Type、Type1 フォントです。Windows で使用可能なフォント以外については動作保証されません。また、フォントの仕様に沿っていないフォントについては動作保証されません。
- (14) Open Type Font では、フォントによって縦書き記号が回転する場合があります。
- (15) Open Type Font をフォント作成ツール「FontForge」で True Type Font に変換したフォントは正しく変換されません。
- (16) 透過画像や図形が含まれているとき、出力された PDF では黒く塗りつぶされた表示になる場合があります。
- (17) 透過画像や図形が含まれているとき、PDF/A や PDF/X 設定時に PDF が出力されない、あるいは、ファイルサイズが 0KB である PDF ファイルが残る場合があります。
- (18) 画像や図形のグラデーションやパターンが元文書の通りに変換されない場合があります。
- (19) Excel ファイルにおいて、「ページ設定」の印刷品質（解像度）設定値の変更を行った場合、出力される PDF ファイルの結果が印刷プレビューと異なり、行やページが増減する場合があります。PDF Driver で出力する場合、あらかじめ、PDF Driver を選択した状態でシートのレイアウトを行ってください。
- (20) プリンターが出力するときのピクセル数は、「用紙サイズ（インチ換算）×解像度」で決まります。この値が非常に大きくなる設定のときに、印刷が行われず PDF ファイルが出力されない場合があります。そのような場合は、用紙サイズを小さくするか、あるいは、解像度を低い値に設定してください。設定値の目安は、「用紙サイズ（縦）×解像度」あるいは「用紙サイズ（横）×解像度」が 16bit の上限である「65535」より小さくなる値です。（参考：3600 dpi なら約 460mm、600 dpi なら約 2750mm が上限値となります）
- (21) PDF Driver は、Modern UI に対応していません。Modern UI を持つソフトウェアから印刷を行った場合、ユーザーインターフェースが期待される動作をせず、ファイル保存ダイアログはデスクトップ上に表示されます。
- (22) PDF Driver は、Windows のサービス（Windows サービス、Internet Information Service など）での利用において、外字出力には対応していません。
- (23) 透かしの配置を最背面に設定した場合、印刷を行うアプリケーションによっては、透かしが他のデータの背面に配置され見えない状態になることがあります。
- (24) 透かし文字列のフォントとして「Roman」など fon 形式フォントを選択した場合、PDF 出力に失敗し、PDF が出力されない、もしくは 0 バイトの PDF ファイルが残ります。
- (25) PDF Driver は印刷ジョブ名を PDF ファイル名としています。Windows においてファイル名に使用できない 9 種類の記号 ¥ / : * ? “ < > | が印刷ジョブ名に含まれている場合、PDF

Driver はこれらの記号を「_」(0x5F) に置換し PDF ファイル名とします。

- (26) PDF Driver は印刷ジョブ名を PDF ファイル名としています。印刷ジョブ名に制御コード (0x01~0x1F) が含まれる場合、これを半角スペースに置換し PDF ファイル名とします。
- (27) グレースケールあるいはモノクロ変換設定でかつ PDF ファイルを透かしとして指定している場合、透かし部分はグレースケールおよびモノクロ変換は行われません。
- (28) Web フォントを使用した Web ページの PDF 出力には対応していません。
- (29) Windows のバリエーションフォントには対応していません。
- (30) 設定オプション「文中の URL にリンクをつける」について、URL 文字列内に改行が存在したり、印刷を行うアプリケーションの仕様により印刷データとして URL アドレスの端末までをひとまとまりの文字列として扱われていない場合に、正しくリンク設定が行われません。
- (31) PDF ファイルを「透かし」とする場合、PDF バージョンは「PDF のバージョン」で指定する PDF バージョンと同一、もしくはそれ以下の PDF バージョンのファイルを指定してください。
- (32) 「PDF のバージョン」に「PDF2.0」を指定したとき、「透かし」として PDF を指定する場合は PDF2.0 のファイルを使用してください。
- (33) 「PDF のバージョン」に「PDF/A-2b」を指定しカラープロファイルが「CMYK」、かつ「圧縮」タブで「JPEG2000」を指定している場合、JPEG2000 ではなく JPEG 圧縮が行われます。カラープロファイルが「RGB」の場合は JPEG2000 圧縮が行われます。
- (34) Word と Excel において、ファイルの用紙サイズ設定が「Letter」であるときに「A4」のページサイズで PDF 出力される場合があります。Word/Excel のオプション「詳細設定」において、「A4 または 8.5 x 11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」という設定が有効であるとき A4 サイズとなります。Letter サイズで PDF 出力する場合はこの設定を無効にしてください。
- (35) PowerPoint ファイルのスライドの印刷の向きが「横」の場合、印刷設定の「用紙設定」で「サイズ指定」したとき、PDF ではページサイズの幅と高さが入れ替わった大きさになります。

2.3. メッセージ表示について

PDF Driver は、印刷処理中にメッセージ表示を行う場合があります。

PDF Driver が表示するメッセージを抑止する場合は、下記のレジストリを設定します。

キー名

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥AntennaHouse¥PDF_Driver¥8.0¥Notification

値名と型

Error : DWORD

設定値

0 : メッセージ表示が抑止されます

0 以外 : メッセージは表示されます

3. PDF Driver を利用して PDF を出力する方法

Windows 付属の「メモ帳」から PDF Driver を使って PDF ファイルを作成する方法を説明します。

- 1) 印刷するテキストファイルを「メモ帳」で開きます。
- 2) 「ファイル」メニューの「印刷…」をクリックし印刷ダイアログを表示します。
- 3) 「プリンターの選択」のプリンター一覧から「Antenna House PDF Driver 8.0」を選択します。



メモ帳 - 印刷ダイアログ

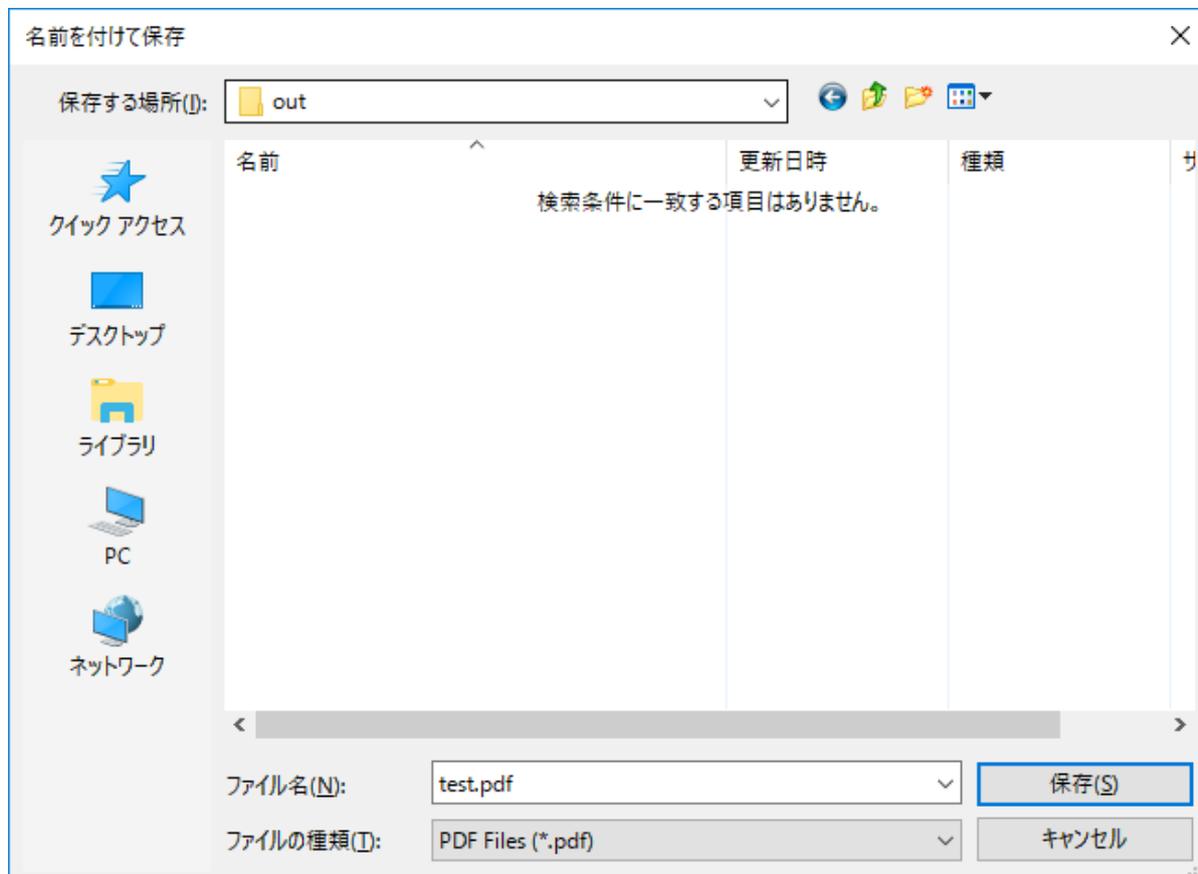
- 4) 印刷設定を変更する場合は、「詳細設定」ボタンをクリックしてPDF Driverの印刷設定ダイアログを開き変更します。



メモ帳 - 印刷ダイアログの「詳細設定」ボタンクリック時

- 5) 印刷ダイアログに戻り「印刷」ボタンをクリックすると印刷が開始されます。

- 6) 印刷設定で「保存方法」を「印刷時にダイアログで確認」に設定している場合はファイル保存ダイアログが表示されます。PDF ファイルの出力先を入力し「保存」ボタンをクリックすると印刷が続行され、指定した場所に PDF ファイルが出力されます。



ファイル保存ダイアログ

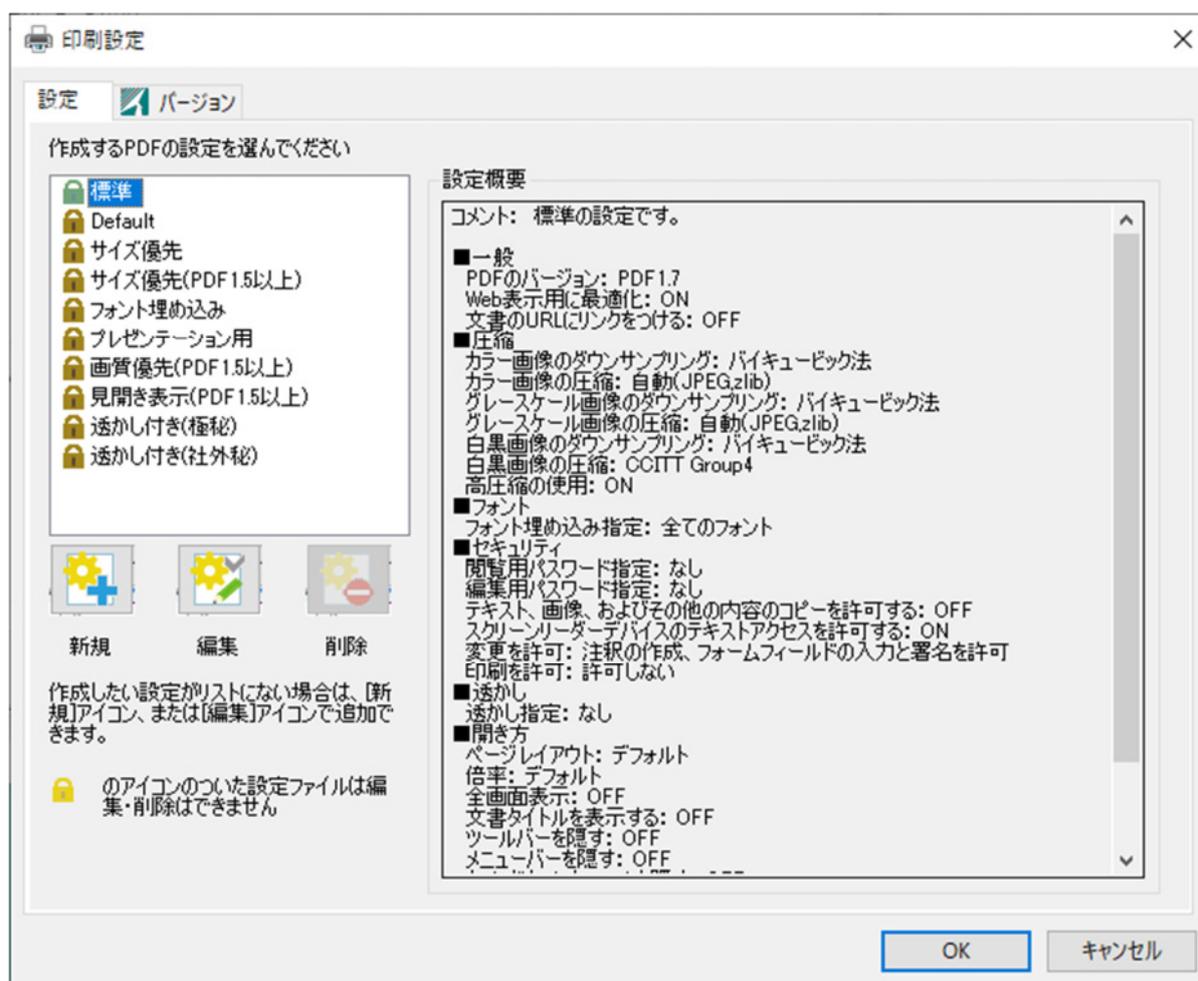
4. 印刷設定ダイアログについて

4.1. ダイアログの外観

4.1.1. 設定タブ

保存されている設定の設定名一覧と、設定内容の概要を表示します。

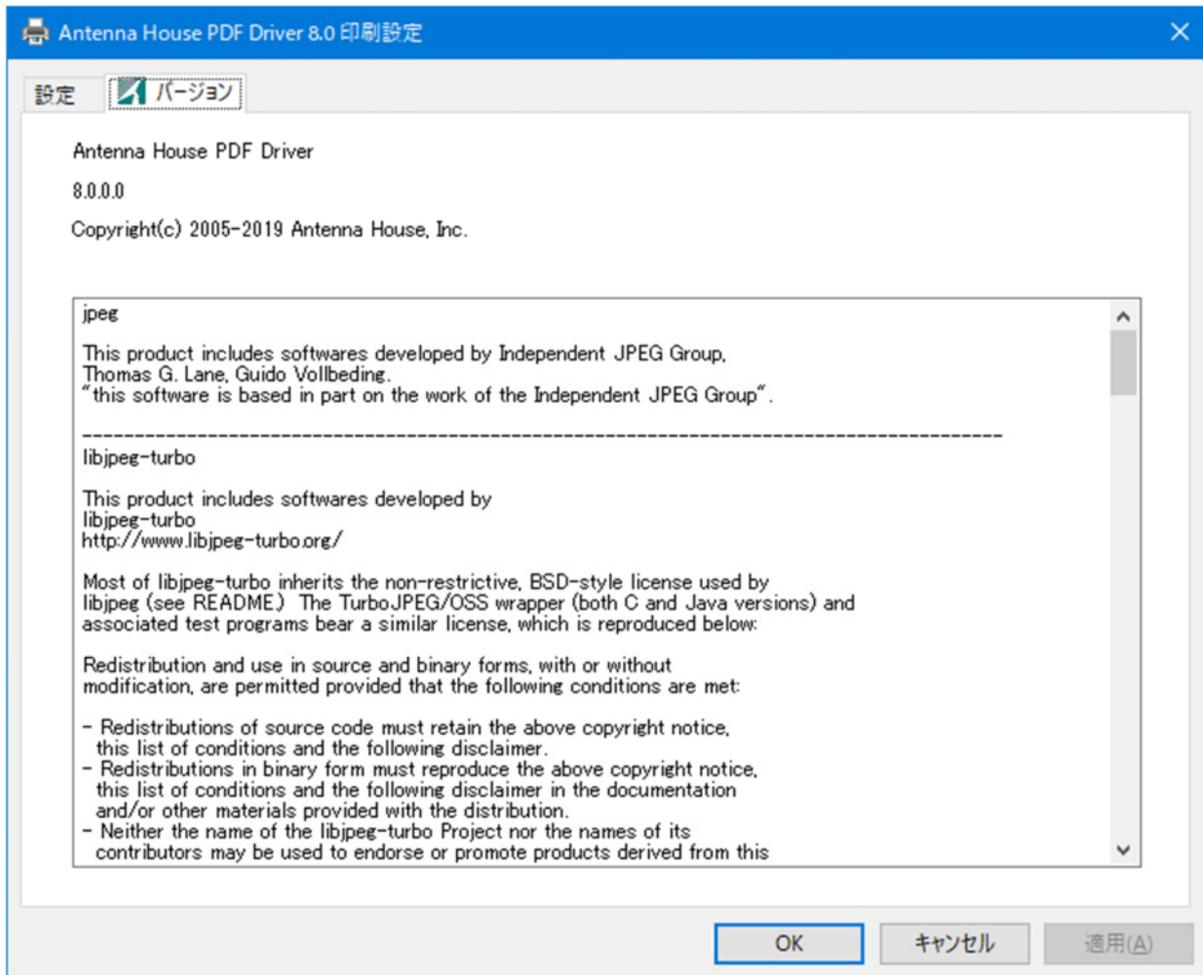
この設定タブ上で、設定を新規に作成したり、編集したりするための印刷設定詳細画面を呼び出します。



印刷設定 - 設定タブ

4.1.2. バージョンタブ

PDF Driver のバージョン情報と、PDF Driver で使用している第三者製ライブラリ著作権情報を表示します。



印刷設定 - バージョンタブ

4.2. プリインストールされる設定

PDF Driver のインストール時に、印刷設定を 10 種類プリインストールします。この設定に対しては編集、削除はできません。

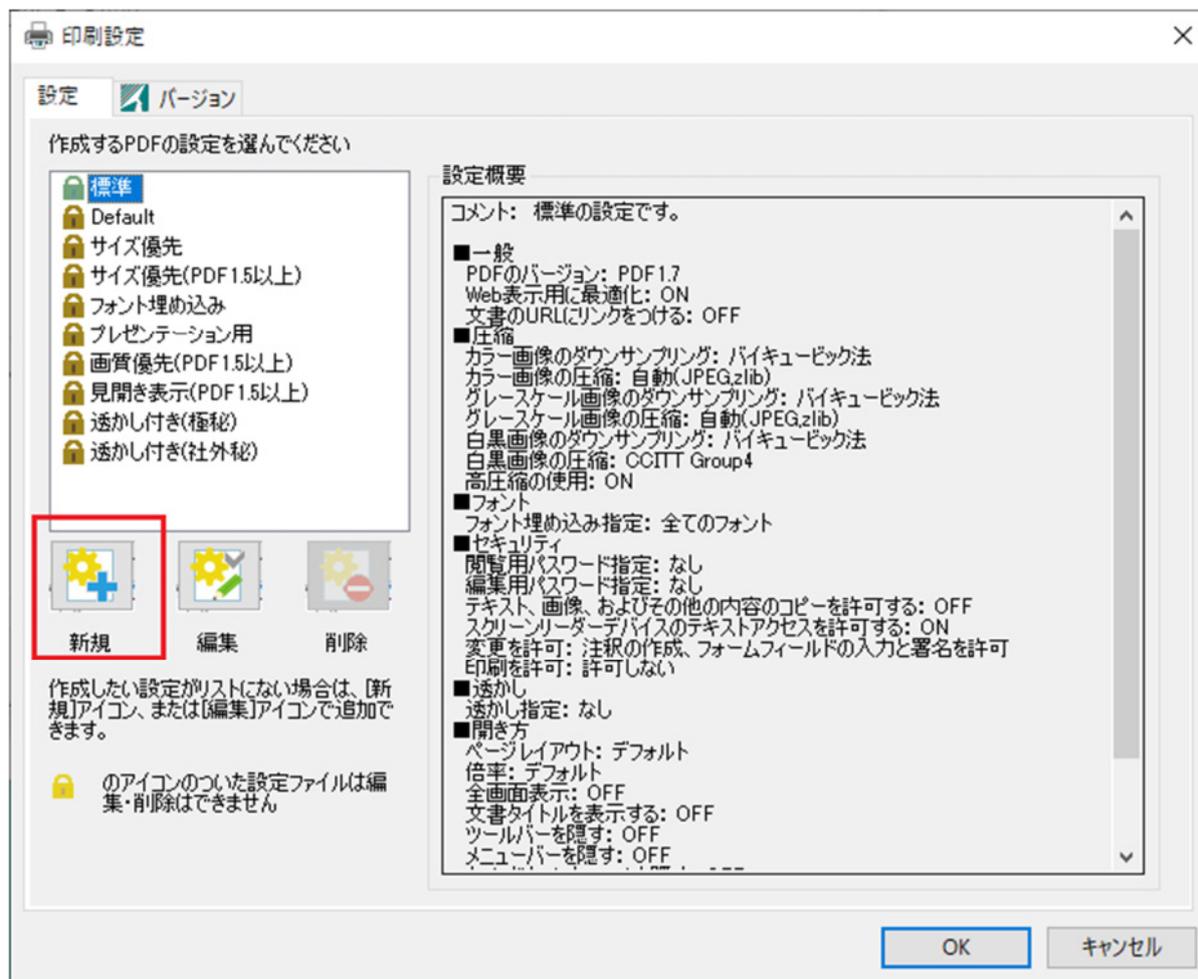
編集、削除ができない設定名の先頭には、  (鍵アイコン) が付きます。 の付く設定は、旧バージョン「PDF Driver 6.0」の設定であることを示します。

設定名	設定内容
標準	ダウンサンプリングとフォント埋め込みを行い PDF1.7 として出力します。
Default	個々の画像に対しては、zlib 圧縮、JPEG 圧縮の双方を試みサイズの小さいものを選択します。このため処理に時間がかかる場合があります。フォント埋め込みは行われません。PDF1.4 として出力されます。
サイズ優先	個々の画像についてダウンサンプリングを行った後、zlib 圧縮、JPEG 圧縮の双方を試みサイズの小さいものを選択します。このため処理に時間がかかる場合があります。フォント埋め込みは行われません。PDF1.4 として出力されます。
サイズ優先 (PDF1.5 以上)	個々の画像についてダウンサンプリングを行った後、zlib 圧縮、JPEG2000 圧縮の双方を試みサイズの小さいものを選択します。このため処理に時間がかかる場合があります。フォント埋め込みは行われません。PDF1.5 として出力されるため、Acrobat/Adobe Reader 6.0 以上で表示します。
フォント埋め込み	埋め込み可能なすべてのフォントを埋め込みます。他は Default 設定と同じです。
プレゼンテーション用	プレゼンテーション用に Adobe Reader で全画面表示される PDF を作成します。フォント埋め込みは行われません。PDF1.4 として出力されます。
画質優先 (PDF1.5 以上)	画像の画質を優先します。ファイルサイズが大きくなる場合があります。フォント埋め込みは行われません。PDF1.5 として出力されるため、Acrobat/Adobe Reader 6.0 以上で表示します。
見開き表示 (PDF1.5 以上)	2 ページ目以降を見開きで表示する設定です。フォント埋め込みは行われません。PDF1.5 として出力されるため、Acrobat/Adobe Reader 6.0 以上で表示します。
透かし付き (極秘)	用紙最前面に赤い文字で「極秘」の表示を付加します。
透かし付き (社外秘)	用紙背面に対角線上に青い文字で「社外秘」の表示を付加します。

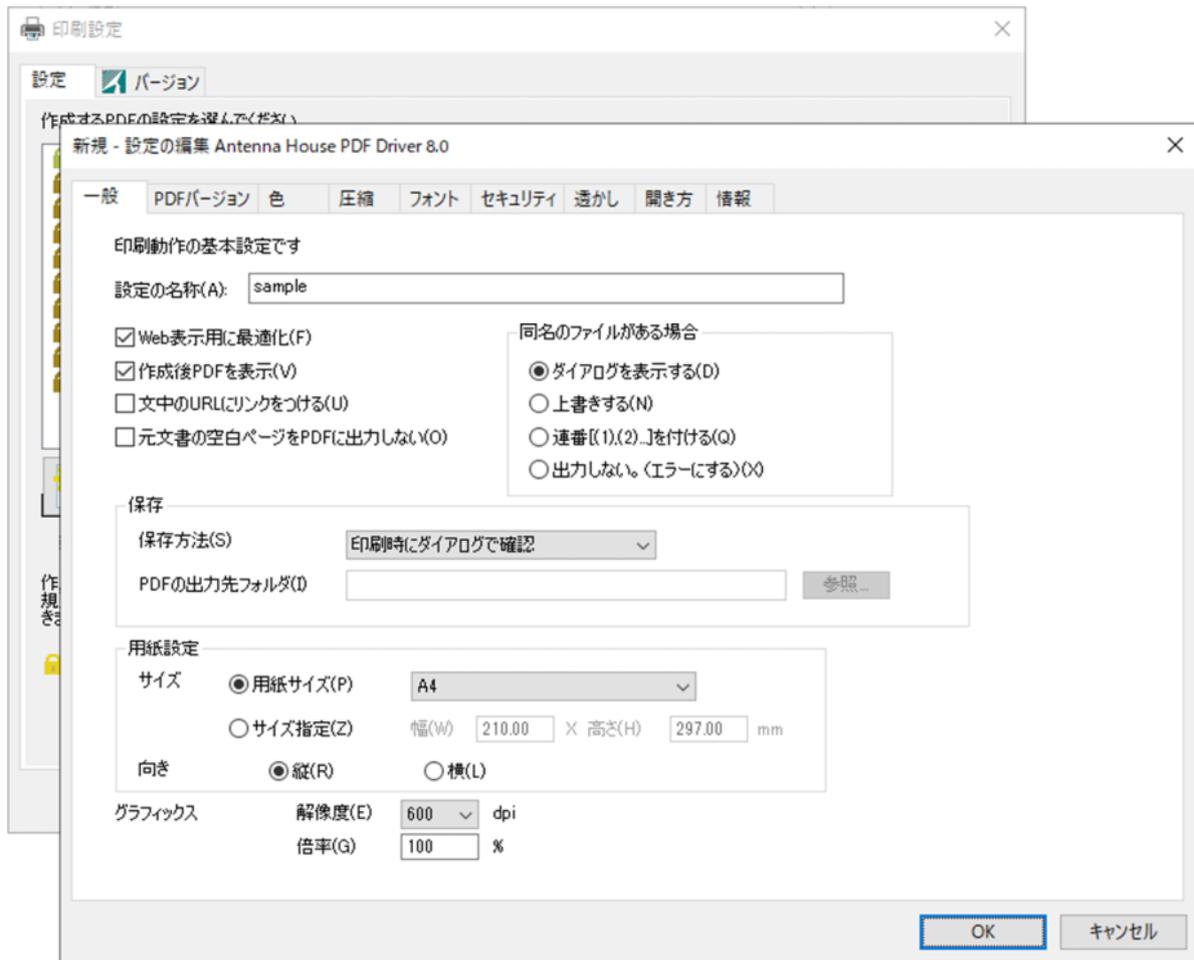
4.3. 印刷設定の新規作成・編集・削除

4.3.1. 新規作成

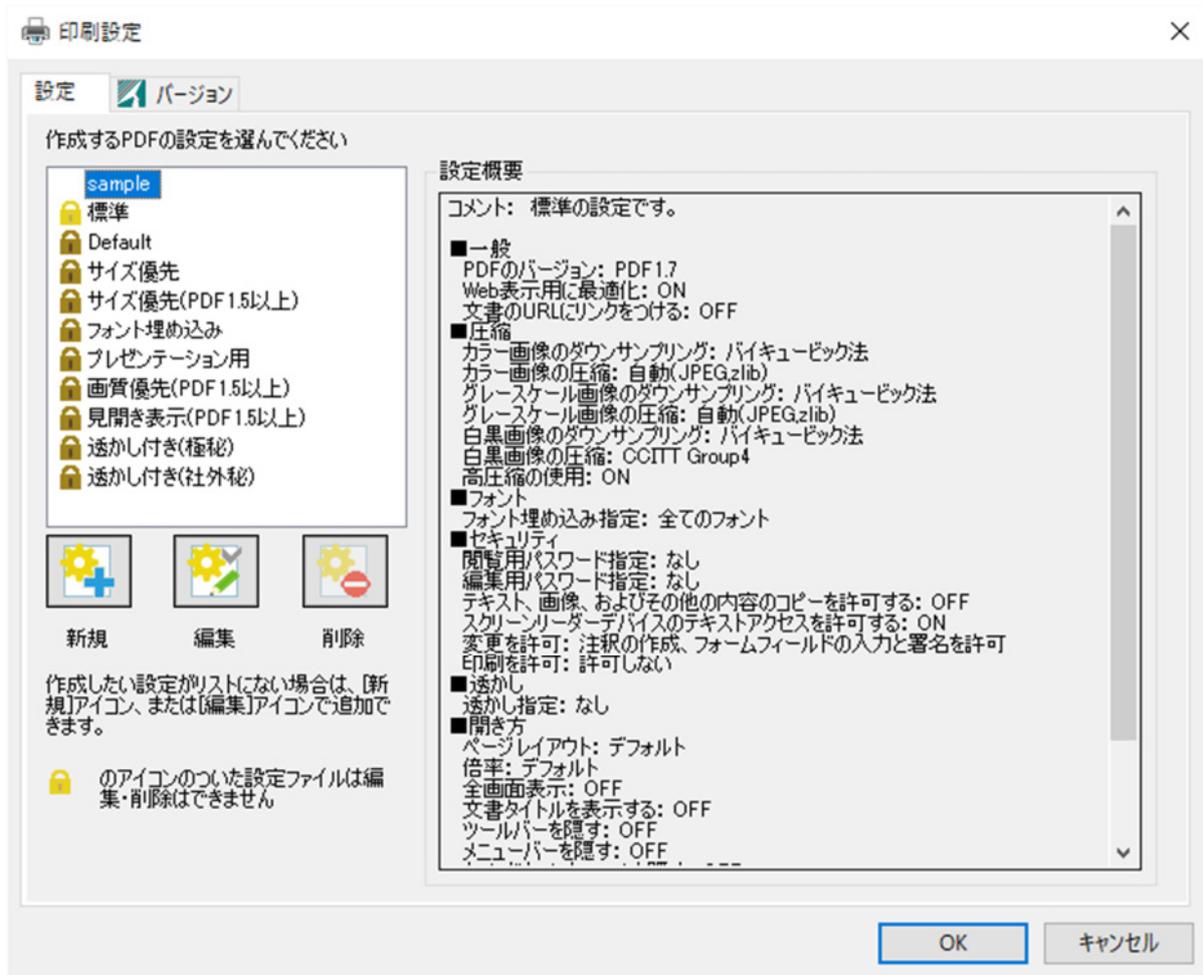
- 1) 設定タブ上の設定名一覧で任意の設定名を選択し「新規」ボタンをクリックすると、選択した設定名の設定値を初期値として印刷設定詳細画面が開きます。



2) 印刷設定詳細画面で設定値を変更し「OK」をクリックします。

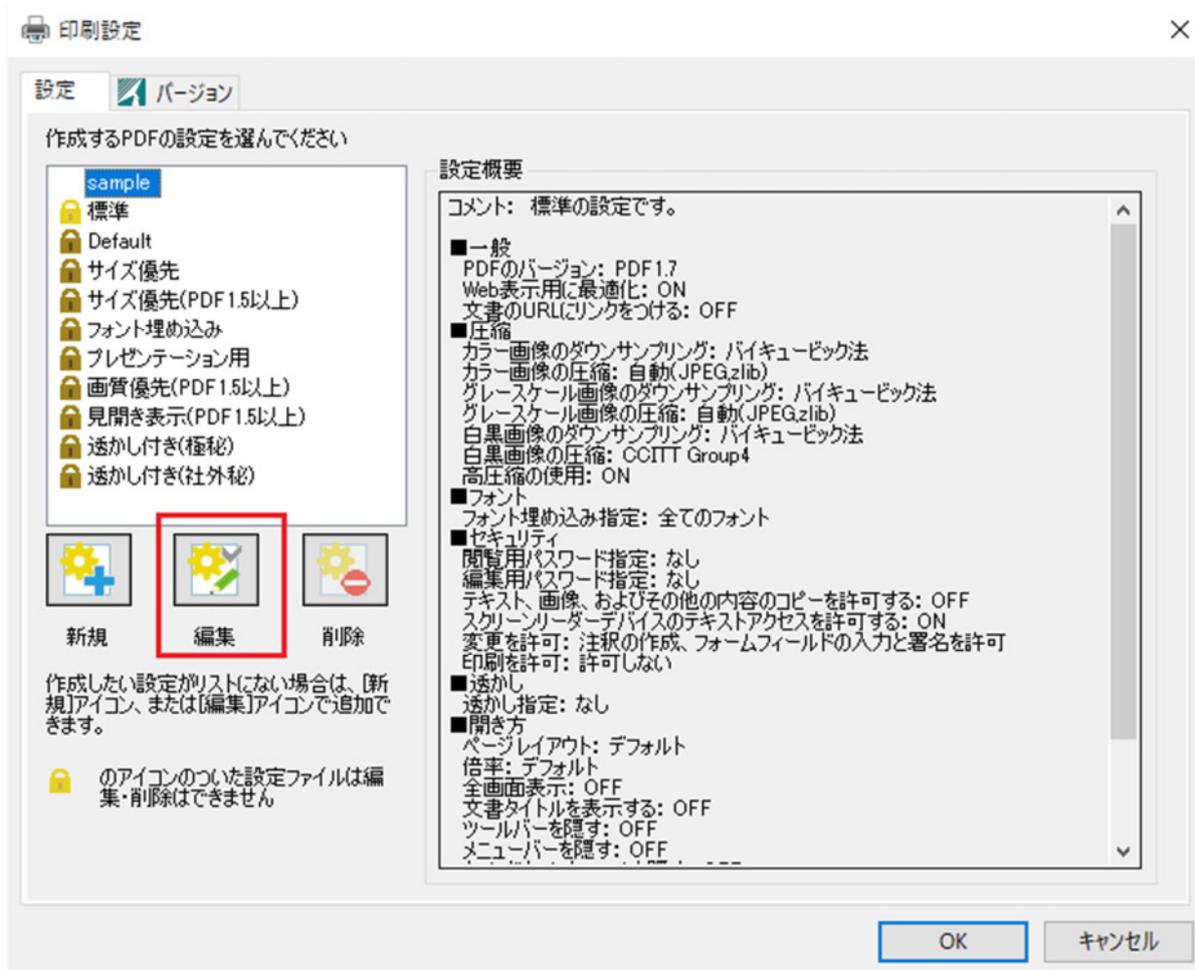


3) 設定名一覧に新規作成した設定が追加されます。

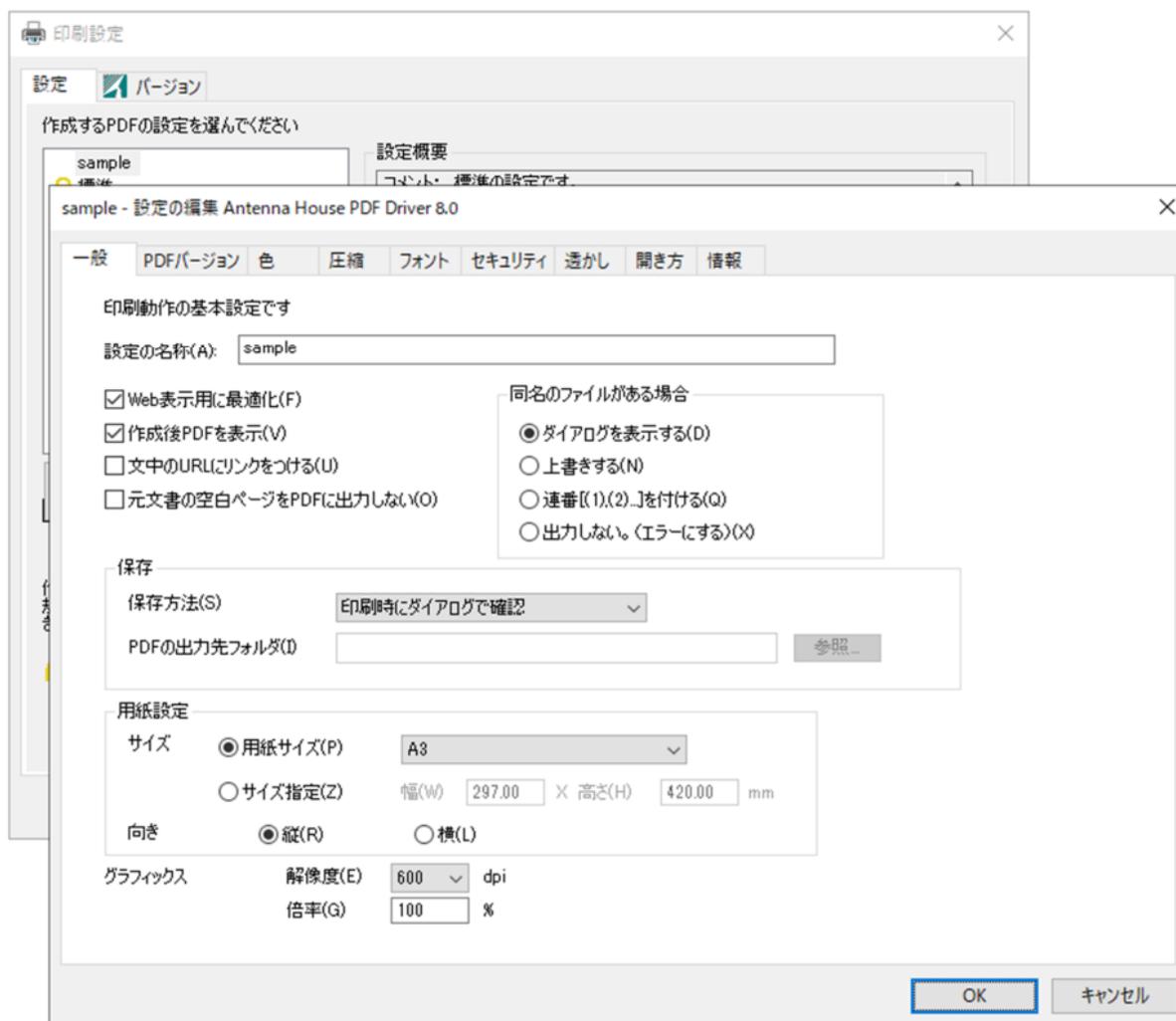


4.3.2. 編集

- 1) 既存の設定名の設定内容を変更する場合、「設定」タブ上の設定名一覧で設定名を選択し「編集」ボタンをクリックします。



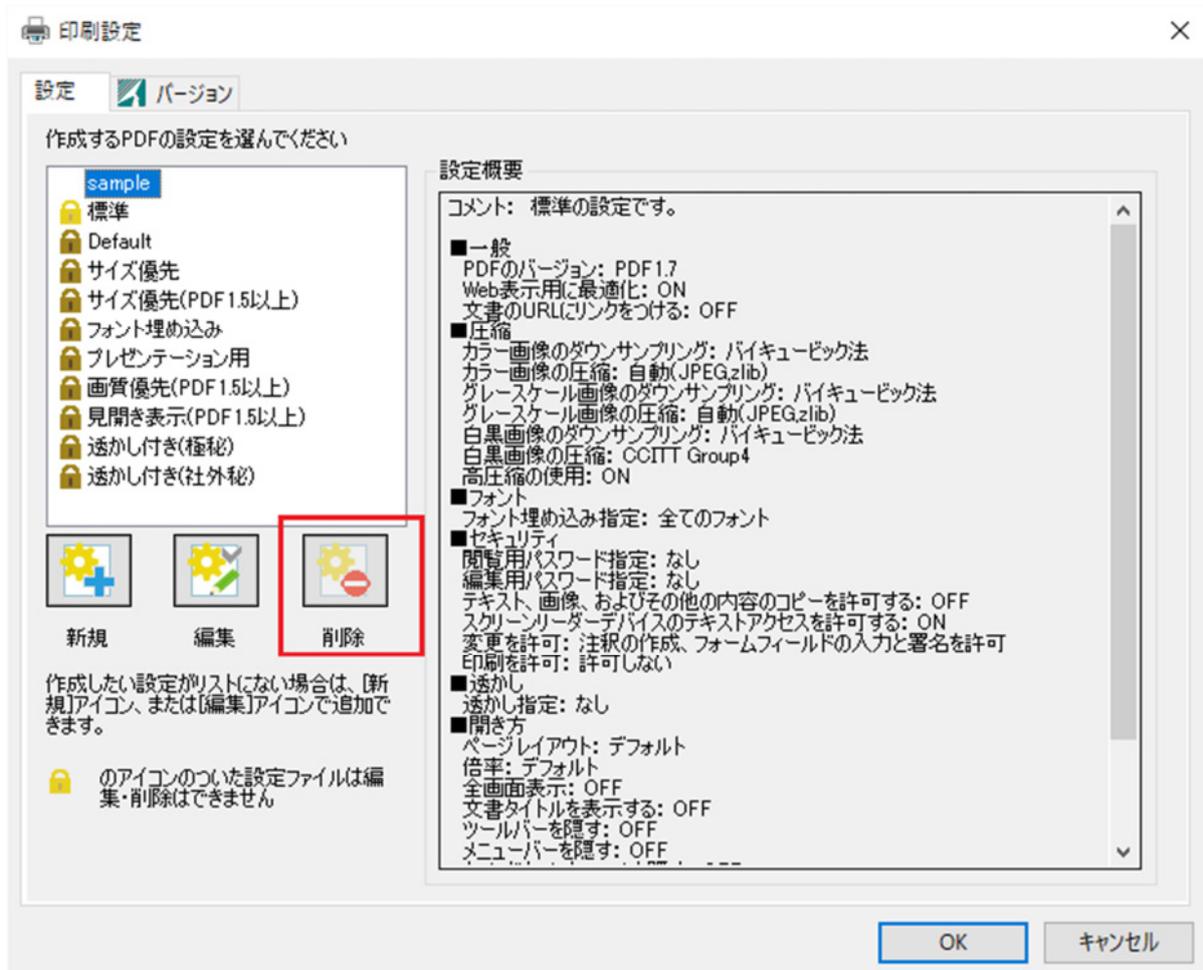
2) 印刷設定詳細画面で設定値を変更し「OK」をクリックすると設定値は上書きされます。



※ プリインストールされている設定を編集することはできません。プリインストールされた設定名を選択し「編集」ボタンをクリックした場合は、新規用として印刷設定詳細画面が開きます。

4.3.3. 削除

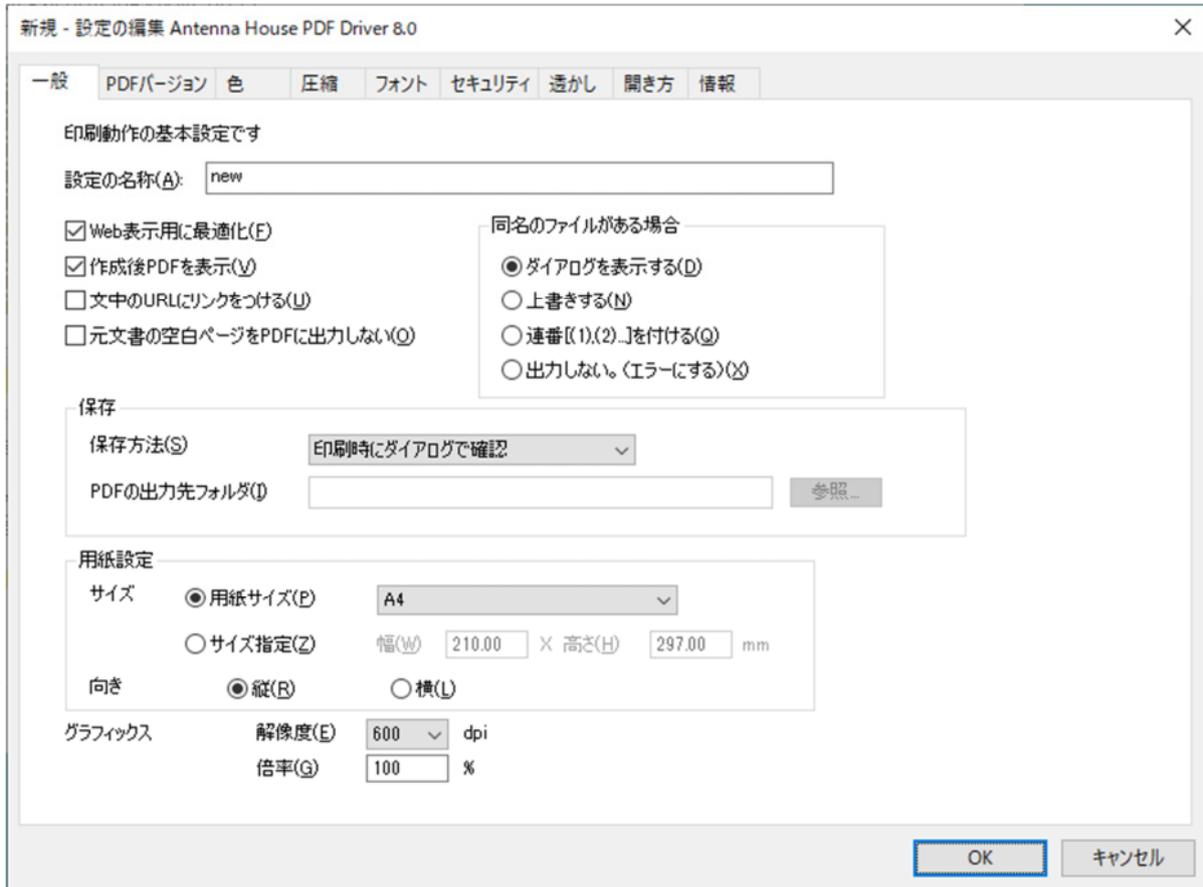
「設定」タブ上の設定名一覧で削除する設定名を選択し「削除」ボタンをクリックすると、設定名一覧から名称が消去され、印刷設定ファイルが削除されます。



※ ブリINSTOOLされている設定を削除することはできません。

5. 印刷設定詳細画面について

5.1. 一般



設定の名称

設定に任意の名称を付けることができます。名称は、印刷設定ダイアログ「設定」タブの左側の設定一覧に表示されます。名称には、「¥/:*? "<> |」の記号を含め、英数字、記号、日本語が使用できます。

設定を新規に作成した場合、設定ファイル名は「設定の名称」の名前となります。ただし、「設定の名称」に Windows において制限されているファイル名に使用できない記号「¥/:*? "<> |」が使われている場合、これらの記号を「_」に置換し、ファイル名とします。

Web 表示用に最適化

PDF を Web 表示用に最適化して出力します。

(参照：[おもな PDF 出力機能 \[Web 表示用に最適化\]](#))

作成後 PDF を表示

PDF の作成完了後、PDF に関連付けされているアプリケーションで PDF ファイルを開きます。

文中の URL にリンクをつける

元文書内で、http://、https:// で始まる文字列を検出すると、作成する PDF にリンクを設定します。URL 文字列内に改行が存在したり、印刷データとして URL アドレスの終端までをひとまとまりの文字列として扱われていないような場合に、正しくリンク設定が行われません。

元文書の空白ページを PDF に出力しない

元文書が Word、Excel、一太郎の場合、その文書内にある空白ページを PDF に出力しません。PDF Driver においては次の条件を満たすときに空白ページと認識します。

- Word/一太郎

改行・空白以外の文字、画像、オートシェイプ、表、ヘッダ・フッタ、ページ番号、改ページのいずれも存在しないページ。

- Excel

ページ範囲内に図形・画像・改行・空白以外の文字、罫線・色の設定、ヘッダ・フッタ、ページ番号のいずれも存在しないページ。

※PowerPoint ファイルでは背景画像は印刷対象であり、白色の背景画像で PowerPoint 上では空白ページに見えるスライドであっても PDF Driver では背景画像を矩形オブジェクトとして PDF に出力するため、空白ページとはみなされません。

同名のファイルがある場合

保存先に同じファイル名の PDF ファイルが存在する場合の動作を選択します。

- ダイアログを表示する

「保存方法」で出力先フォルダを指定している場合、上書きするかどうかの確認メッセージが表示されます。確認メッセージに対し「いいえ」で応答すると、名前を付けて保存ダイアログが表示され別名を付けることができます。

- 上書きする

メッセージを表示することなく無条件で上書きします。

- 連番[(1),(2)…]を付ける

「保存方法」で出力先フォルダを指定している場合、出力ファイル名に連番を付与して別名で PDF 出力を行います。たとえば、「sample.pdf」がすでに存在しているときに同名の文書ファイルを印刷すると、出力される PDF ファイル名は「sample(1).pdf」となります。

「保存方法」で「印刷時にダイアログで確認」を指定している場合、名前を付けて保存ダイアログの「ファイル名」に表示される初期値が「sample(1).pdf」のように連番が付与された名称となります。

連番の上限値は「99999」です。

- ・出力しない。(エラーにする)

保存先に同名のファイルが存在する場合は PDF 出力を行いません。

(参照：[おもな PDF 出力機能](#) [\[出力ファイル名の連番付け\]](#))

保存

「保存方法」の選択肢は、

- ・印刷時にダイアログで確認
- ・出力先フォルダを指定する

の 2 種類です。「出力先フォルダを指定する」を選択した場合は、「PDF の出力先フォルダ」を設定してください。

用紙設定 (サイズ、向き)

テキストエディタなど、用紙サイズの設定がないアプリケーションから PDF を作成する場合にこの設定値が有効となります。*1

解像度 *1

プリンターの解像度です。この設定によりピクセル数が変わります。

解像度の設定を大きくした場合、処理時間が長くなり、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

倍率

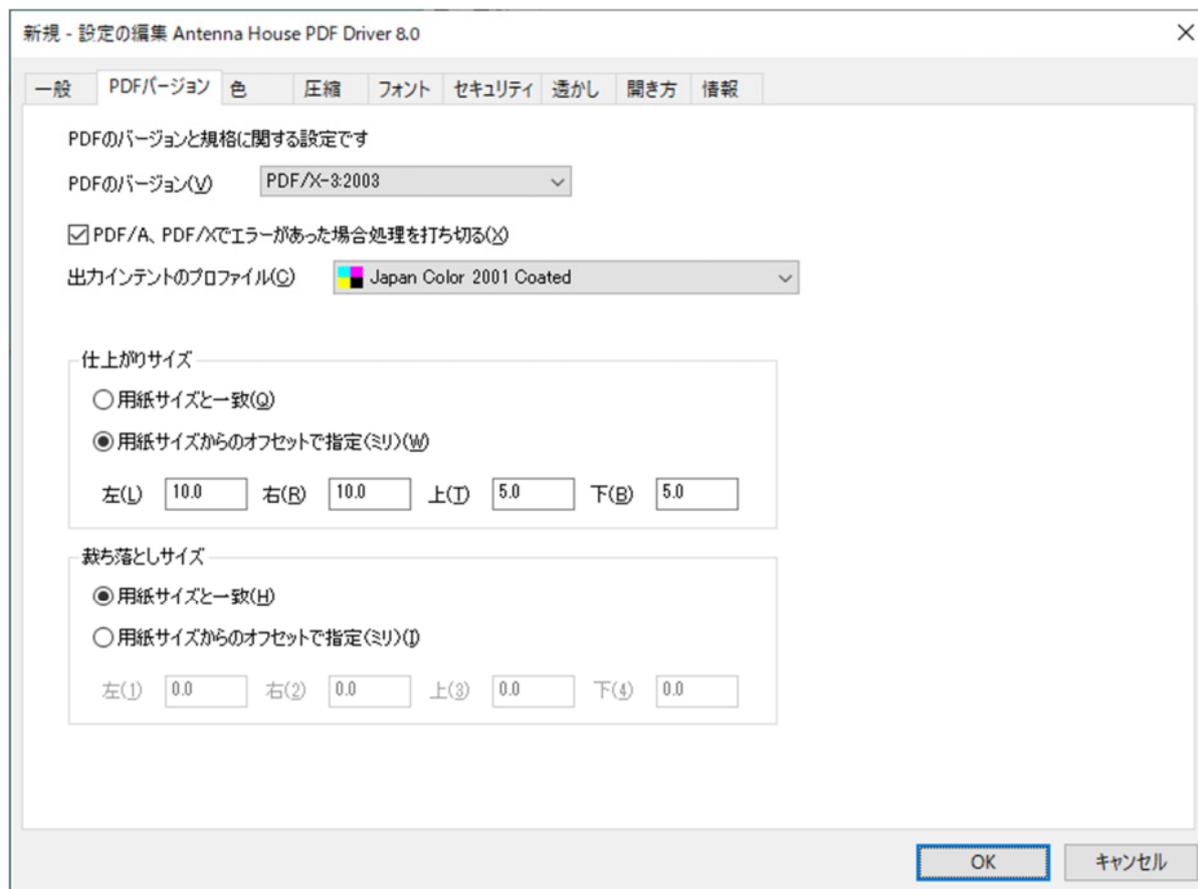
プリンターの倍率です。この設定により元文書の出力倍率が変わります。

印刷を行うアプリケーションの仕様によっては、「倍率」設定が反映されない場合があります。

*1 用紙サイズと解像度

プリンターが出力するときのピクセル数は、「用紙サイズ (インチ換算) × 解像度」で決まります。この値が非常に大きくなる設定のときに、印刷が行われず PDF ファイルが出力されない場合があります。そのような場合は、用紙サイズを小さくするか、あるいは、解像度を低い値に設定してください。設定値の目安は、「用紙サイズ (縦) × 解像度」あるいは「用紙サイズ (横) × 解像度」が 16bit の上限である「65535」より小さくなる値です。(参考：3600 dpi なら約 460mm、600 dpi なら約 2750mm が上限値となります)

5.2. PDF バージョン



PDF のバージョン

出力する PDF のバージョンまたは規格の種類を選択します。選択肢は次の通りです。

PDF1.3

PDF1.4

PDF1.5

PDF1.6

PDF1.7

PDF2.0

PDF/A-1b

PDF/A-2b

PDF/X-1a:2001

PDF/X-1a:2003

PDF/X-3:2002

PDF/X-3:2003

PDF/X-4:2008

※ PDF/A-2b を指定する場合、「圧縮」タブにおいてダウンサンプリングのチェックボックスのチェックは外してください。

PDF/A,PDF/X でエラーがあった場合処理を打ち切る

この設定にチェックが付いている場合、フォントが埋め込めないなどそれぞれの規格の仕様に準拠しない出力である場合に出力処理を中止します。

出力インテントのプロファイル *2

「PDF のバージョン」が PDF/A-1b、PPDF/A-2b、DF/X-1a、PDF/X-3、PDF/X-4 の場合に設定が必須です。選択肢には、

{システムフォルダ}¥spool¥drivers¥color

に存在する ICC ファイルの中からそれぞれの規格がサポートするファイル名が列挙されます。ただし、「Description」の記述を持たないプロファイル名は列挙されません。

- ・ PDF/A-1b,PDF/A-2b：カラースペースが「RGB」「CMYK」のもの。
- ・ PDF/X-1a：カラースペースが「CMYK」のもの。
- ・ PDF/X-3,PDF/X-4：カラースペースが「RGB」「CMYK」のもの。「RGB」の場合は Profile/Device Class が「prtr」のもの。

仕上がりサイズ

「PDF のバージョン」に PDF/X-1a、PDF/X-3、PDF/X-4 を指定した場合に設定が必要です。

「用紙サイズからのオフセットで指定」では、左、右、上、下のページの端からページの中に向かって正の値で指定します。

仕上がりサイズは裁ち落としサイズの内側に収まるか、または同じサイズでなければなりません。

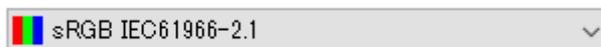
裁ち落としサイズ

「PDF のバージョン」に PDF/X-1a、PDF/X-3、PDF/X-4 を指定した場合に設定が必要です。

「用紙サイズからのオフセットで指定」では、左、右、上、下のページの端からページの中に向かって正の値で指定します。

裁ち落としサイズは仕上がりサイズより大きいか、または同じサイズでなければなりません。

- *2 「出力インテントのプロファイル」コンボボックスのプロファイル名の表示について
プロファイル名の先頭に、そのプロファイルのカラースペースが RGB であるか CMYK であるかをアイコンで表示します。

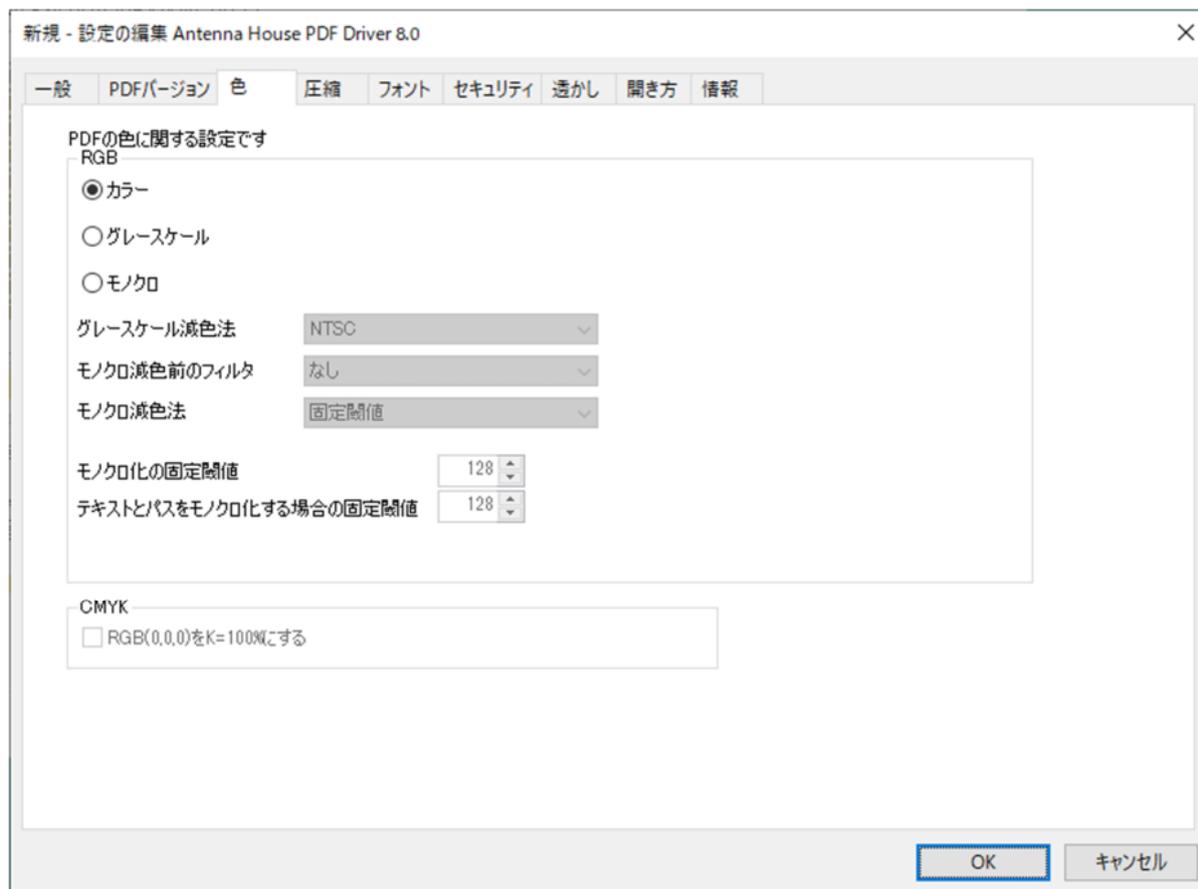


RGB の場合



CMYK の場合

5.3. 色



カラー

元文書のカラー情報で PDF 出力を行います。

グレースケール

グレースケールに変換して PDF 出力を行います。「グレースケール減色法」を選択してください。

※ 「透かし」タブにおいて、「図」の透かしに PDF ファイルを指定している場合、透かし部分はグレースケールへの変換は行われません。

モノクロ

白黒 2 値に変換して PDF 出力を行います。カラーの場合はグレースケールに減色後に白黒 2 値に変換します。「グレースケール減色法」「モノクロ減色前のフィルタ」、「モノクロ減色法」、「モノクロ化の固定閾値」、「テキストとパスをモノクロ化する場合の固定閾値」をそれぞれ設定してください。

※ 「透かし」タブにおいて、「図」の透かしに PDF ファイルを指定している場合、透かし部分はモノクロへの変換は行われません。

グレースケール減色法

カラーをグレースケールに減色する場合のアルゴリズムを選択します。

NTSC (初期値)	: NTSC 係数による加重平均法
HDTV	: HDTV 係数による加重平均と補正
RGB の平均	: R、G、B を足して 3 で割った単純平均

モノクロ減色前のフィルタ

モノクロ変換前に画像に対して行うノイズ除去方法のアルゴリズムを選択します。

なし (初期値)	
メディアンフィルタ	: 周辺画素の中央値
ガウシアンフィルタ 3x3	: 周辺画素の重み付き平均
ガウシアンフィルタ 5x5	
ガウシアンフィルタ 7x7	

モノクロ減色法

グレースケールの元画像をモノクロ (白黒二値) に変換する場合のアルゴリズムを選択します。

固定閾値 (初期値)

元画像のすべての画素について、指定した閾値よりも明るい画素は白 (明るさ「255」) に変換し、暗い画素は黒 (明るさ「0」) に変換します。

判別分析法

画像の輝度ヒストグラムをある閾値で 2 つのクラスに分割したとき分離度という値が最大になる値を求め自動的に二値化を行います。

モノクロ化の固定閾値

「モノクロ減色法」の「固定閾値」の閾値を設定します。

設定範囲	: 0 ~ 255
初期値	: 128

テキストとパスをモノクロ化する場合の固定閾値

テキストとパス (=線や曲線など) をモノクロに変換する場合の閾値を設定します。指定した閾値よりも明るい場合は白 (明るさ「255」) に変換し、暗い場合は黒 (明るさ「0」) に変換します。

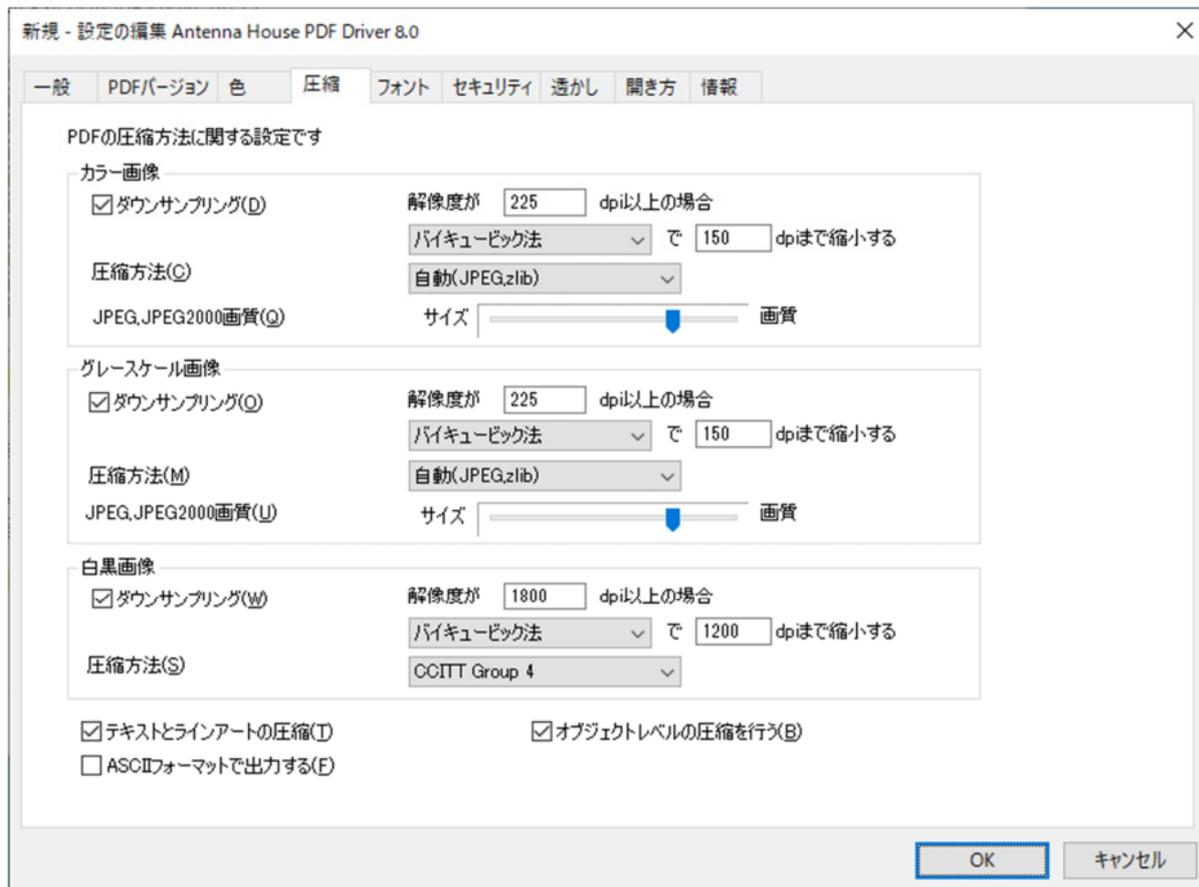
設定範囲	: 0 ~ 255
初期値	: 128

RGB(0,0,0)を K=100%にする

このオプションが有効であるとき、PDF/A や PDF/X の出力インテントのプロファイルが CMYK である場合、黒 (RGB : 0 0 0) を「K=100%」(CMYK : 0 0 0 100) に置き換えます。

K=100%が適用されるのは、テキストとパス (図形) です。画像には適用されません。画像は、常に指定された ICC プロファイルにしたがって変換されます。

5.4. 圧縮



ダウンサンプリング

ダウンサンプリングを行う場合、先頭のチェックボックスをチェックし、ダウンサンプリング対象とする画像の解像度の下限値、ダウンサンプリング方法、ダウンサンプリング後の解像度を指定します。ダウンサンプリングの方法は、以下の3種類から選択できます。

- ・バイリニア法
- ・ニアレストネイバー法
- ・バイキュービック法

バイキュービック法は他の2つの方法と比べ処理時間はかかりますが、もっとも自然な画像が得られます。

※ 「PDFバージョン」タブの「PDFのバージョン」で「PDF/A-2b」を指定して出力を行う場合、ダウンサンプリングのチェックボックスのチェックは外してください。

圧縮方法 (カラー／グレースケール)

JPEG

これを選択した場合、「JPEG、JPEG2000 画質」で画質を設定することができます。写真などが含まれるデータの場合、これを選択すると良いでしょう。

zlib

zlib は、画質の劣化がありません。Microsoft Office のオートシェイプ図形、あるいはパソコン画面のスクリーンキャプチャなどの画像が主に含まれるファイルではこちらを選択すると良いでしょう。

自動 (JPEG,zlib)

各画像について、JPEG、zlib 双方の圧縮を行い、サイズが小さいほうの形式を選択します。このため、処理速度は遅くなります。写真画像や、スクリーンキャプチャなどの両方の画像を含むファイルで、サイズを小さくしたい場合はこれを選択すると良いでしょう。

JPEG2000

「PDF バージョン」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上、あるいは「PDF/A-2b」を選択している場合に有効となります。

「PDF/A-2b」では、選択されているプロファイルのカラーが RGB、グレースケール、CIE L*a*b*のいずれかの場合に JPEG2000 圧縮が可能です。これら以外のカラーの場合は JPEG 圧縮となります。

「JPEG、JPEG2000 画質」で画質を設定することができます。

自動 (JPEG2000,zlib)

「PDF バージョン」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上、あるいは「PDF/A-2b」を選択している場合に有効となります。

各画像について、JPEG2000、zlib 双方の圧縮を行い、サイズが小さいほうの形式を選択します。このため、処理速度は遅くなります。

圧縮方法 (白黒)

None(圧縮無し)、CCITT Group 3、CCITT Group 4、Run Length、zlib から選択します。いずれも画質の劣化はありません。

JPEG,JPEG2000 画質

「圧縮方法」が JPEG、JPEG2000 の場合に設定が有効です。画質を優先するか (= ファイルサイズは大きくなる)、ファイルサイズを小さくするか (= 画質は劣化する) を設定します。

テキストとラインアートの圧縮

PDF 内のテキストやグラフィック部分に対応するデータを zlib 圧縮します。

ASCII フォーマットで出力する

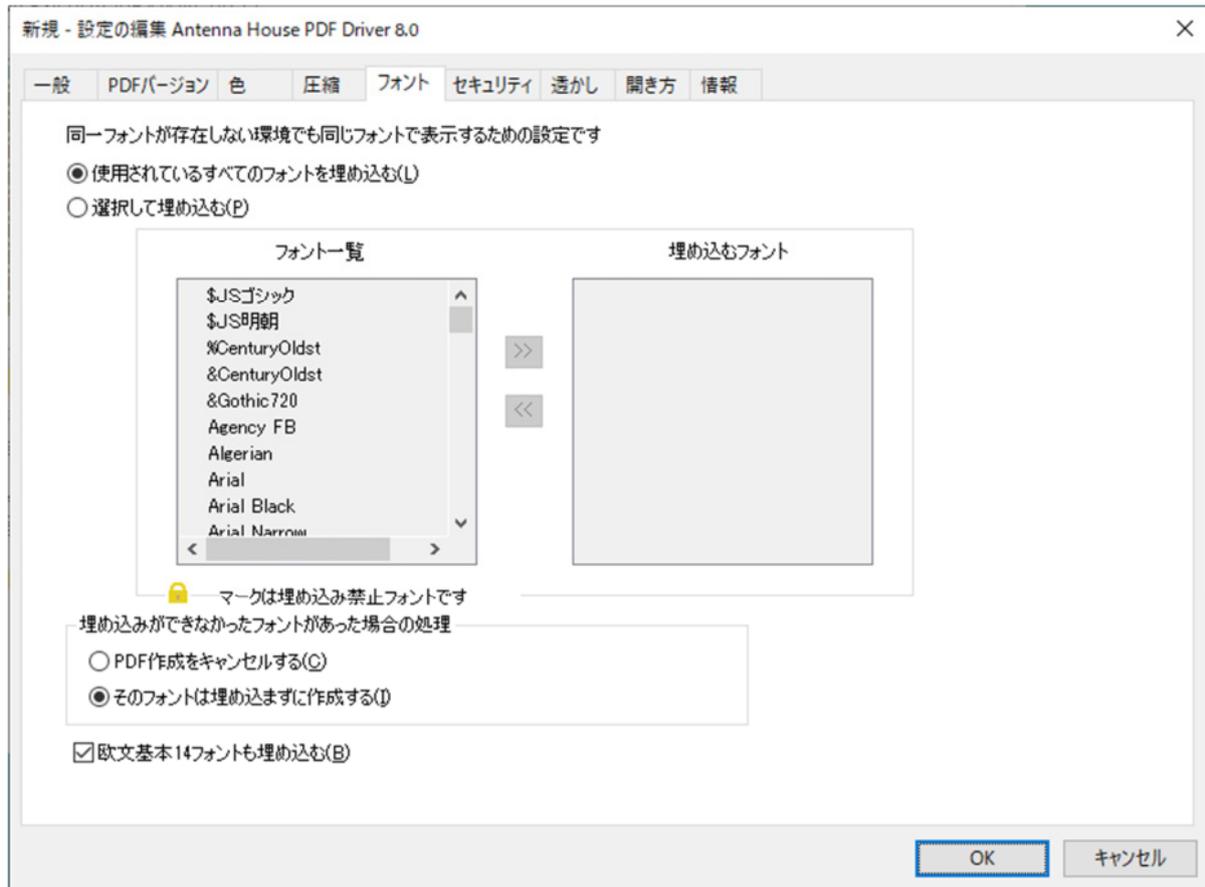
画像データ、あるいは圧縮されたテキストなどの PDF 内のバイナリデータ部を ASCII フォーマットで出力します。

オブジェクトレベルの圧縮を行う

「PDF バージョン」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上を選択している場合のみ有効となります。

PDF1.5 で追加された機能を使用して圧縮率を改善し、ファイルサイズを縮小します。

5.5. フォント



使用されているすべてのフォントを埋め込む

文書に使用されているすべてのフォント情報を PDF に埋め込みます。

選択して埋め込む

選択したフォントだけを PDF に埋め込みます。埋め込むフォント名を「フォント一覧」で選択し、「>>」キーで「埋め込むフォント」一覧に移動させます。

「フォント一覧」のフォント名の先頭に鍵マークがついているフォントは、フォント情報を PDF に埋め込むことはできません。

埋め込みができなかったフォントがあった場合の処理

- ・ PDF 作成をキャンセルする
 - ・ そのフォントは埋め込まずに作成する
- のいずれかを選択します。

欧文基本 14 フォントも埋め込む

PDF には標準 14 フォントと呼ばれるフォントがあります。PDF にこれらのフォントが埋め込まれていない場合、動作環境に該当のフォントが存在していなくても、PDF

ビューアアプリケーションで正しく表示される Type1 フォントです。通常、これらのフォントについてはフォントを埋め込む設定であっても埋め込み処理は行いません。埋め込みを行う必要がある場合は、このチェックボックスをチェックします。

5.6. セキュリティ

新規 - 設定の編集 Antenna House PDF Driver 8.0

一般 PDFバージョン 色 圧縮 フォント **セキュリティ** 透かし 開き方 情報

パスワードをかける、改ざん不可能にするなどのセキュリティを設定します

閲覧用パスワード(U)

編集用パスワード(M)

許可

テキスト、画像、およびその他の内容のコピーを許可する(C)

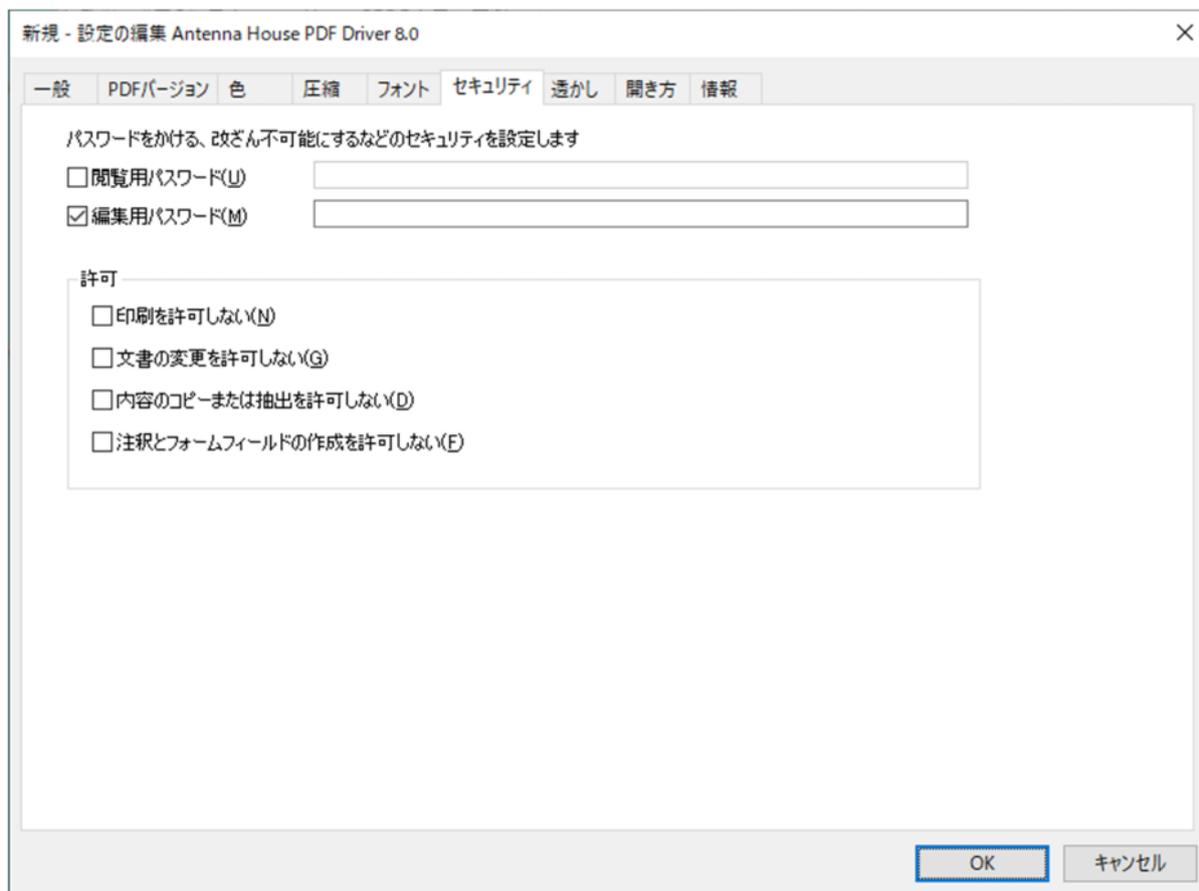
スクリーンリーダーデバイスのテキストアクセスを許可する(音声読み上げを許可する)(V)

変更を許可(H) 注釈の作成、フォームフィールドの入力と署名を許可

印刷を許可(P) 許可しない

OK キャンセル

「PDF バージョン」が PDF1.4~PDF2.0 の場合のセキュリティ設定画面



「PDF バージョン」が PDF1.3 の場合のセキュリティ設定画面

「PDF バージョン」タブの「PDF のバージョン」で選択されている PDF バージョン番号により、セキュリティの暗号化レベルが決定されます。

PDF バージョン	暗号化レベル
PDF1.3	40bit RC4
PDF1.4/1.5	128bit RC4
PDF1.6	128bit AES
PDF1.7	256bit AES (Revision ※ = 5)
PDF2.0	256bit AES (Revision ※ = 6)

「PDF のバージョン」において PDF1.3 が選択されている場合と、PDF1.4～PDF2.0 が選択されている場合とで、設定項目が異なります。

※ 「Revision」の番号

ISO 仕様における standard security handler の改訂番号をさします。

◇ 全 PDF バージョンで共通

閲覧用パスワード

PDF ファイルを開くときのパスワード文字列を設定します。

「PDF のバージョン」において PDF1.3～PDF1.7 が選択されているとき、パスワードには、32 文字までの半角の英数字、記号が使用できます。

PDF2.0 が選択されているとき、UTF-8 が使用でき、127 バイトまでの文字列を指定できます。

「編集用パスワード」の文字列とは異なる文字列を設定してください。

編集用パスワード

印刷や文書の編集などの許可・不許可のセキュリティを設定する場合は編集用パスワード文字列を設定します。

「PDF のバージョン」において PDF1.3～PDF1.7 が選択されているとき、パスワードには、32 文字までの半角の英数字、記号が使用できます。

PDF2.0 が選択されているとき、UTF-8 が使用でき、127 バイトまでの文字列を指定できます。

「閲覧用パスワード」の文字列とは異なる文字列を設定してください。

◇ PDF1.3 の場合

許可

次の 4 項目のセキュリティについてチェックボックスの ON/OFF で設定を行います。

- ・印刷を許可しない
- ・文書の変更を許可しない
- ・内容のコピーまたは抽出を許可しない
- ・注釈とフォームフィールドの作成を許可しない

◇ PDF1.4～PDF2.0 の場合

テキスト、画像、およびその他の内容のコピーを許可する

この項目を許可する場合は、自動的に「スクリーンリーダーデバイスのテキストアクセスを許可する」も許可します。

スクリーンリーダーデバイスのテキストアクセスを許可する

スクリーンリーダーを使用して読み取りが可能な PDF が生成されます。

変更を許可

次の 6 項目からひとつを選択します。

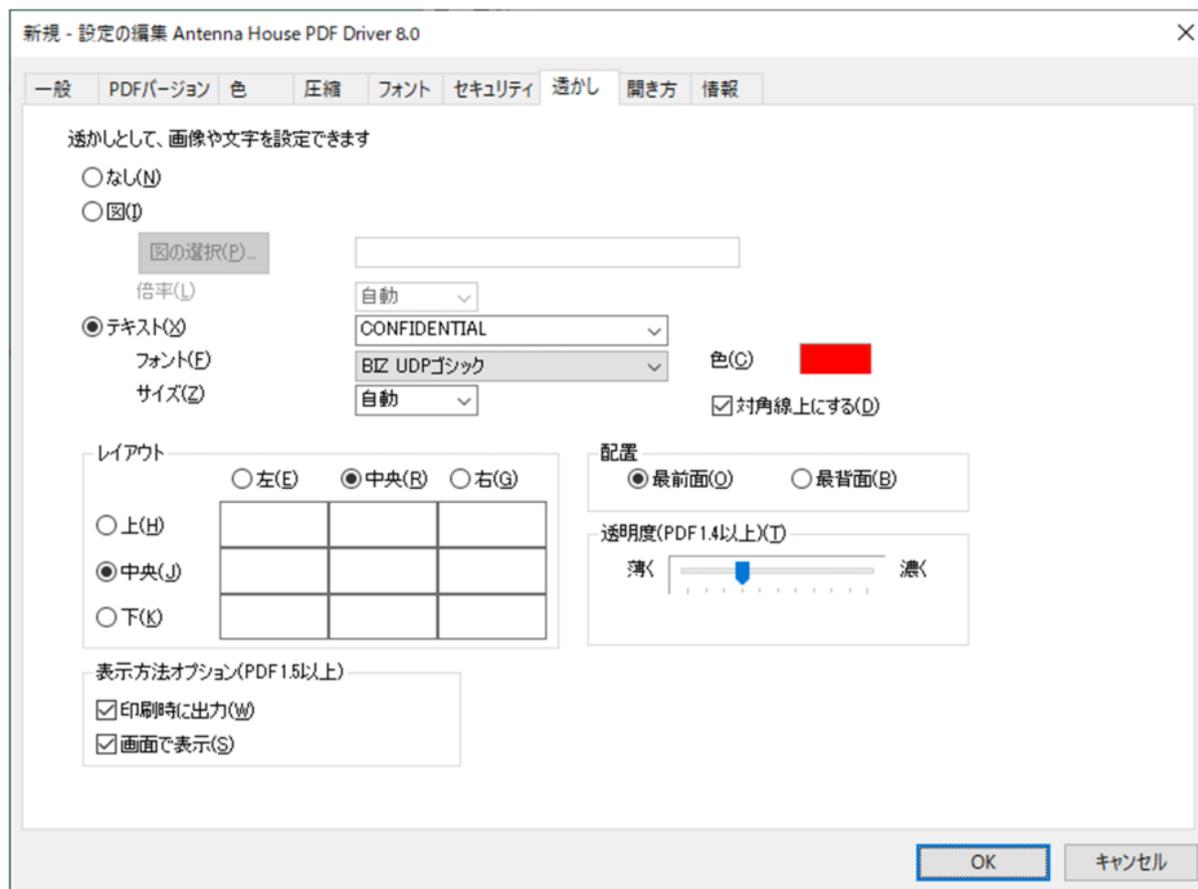
- ・ 許可しない
- ・ フォームフィールドの入力と署名を許可
- ・ 注釈の作成、フォームフィールドの入力と署名を許可
- ・ ページの抽出を除くすべての操作を許可
- ・ ページの挿入、削除、回転を許可
- ・ すべての操作を許可

印刷を許可

次の 3 項目からひとつを選択します。

- ・ 許可しない
- ・ 低解像度の印刷を許可
- ・ 高解像度の印刷を許可

5.7. 透かし



なし

透かし挿入は行いません。

図

図の選択…

- ・ 画像ファイルを透かしとして挿入することができます。対応画像形式は、Bitmap、JPEG、GIF、TIFF、PNG です。
- ・ PDF ファイルを指定した場合、1 ページ目が透かしとなります。
- ・ 透かしとした PDF 部分は、グレースケールあるいはモノクロ変換は行われません。
- ・ 「PDF バージョン」タブの「PDF のバージョン」で「PDF2.0」を指定しているとき、PDF2.0 の PDF ファイルを透かしとして挿入できます。その他の PDF バージョンの PDF は透かしとして設定できません。
- ・ 透かしとして挿入する画像ファイル、PDF ファイルは、あらかじめ、次のフォルダに配置してください。
{インストールフォルダ}\¥Pictures
- ・ 「図の選択…」ボタンで表示されるダイアログには、Pictures フォルダにある画

像ファイル名が一覧表示されます。

倍率

「図の選択…」で選択した画像・PDF ファイルを次の倍率で透かしとしてページ上に挿入します。

- ・ 設定値：500 / 200 / 150 / 100 / 50 / 自動
- ・ 数字の単位は「%」です。
- ・ 「自動」の場合、指定された画像、PDF がページに収まるよう拡大・縮小します。

テキスト

- ・ テキストを透かしとして挿入することができます。コンボボックスに用意された文字列のほか、コンボボックスに任意の文字列を入力して設定値とすることができます。
- ・ 任意の文字列設定では、次のマクロ文字列を使用することができます。

マクロ文字列	内容
\$(user)	ログインユーザー名に置き換えます
\$(filename)	出力ファイル名の拡張子を除いた名將に置き換えます
\$(jobname)	印刷ジョブ名に置き換えます

※マクロ文字列は大文字・小文字が区別されます。

フォント

透かしテキストのフォントの種類を選択します。透かし文字列に日本語が含まれる場合は日本語用のフォントを選択してください。

サイズ

透かしテキストの文字の大きさを選択します。

- ・ 設定値：36 / 40 / 44 / 48 / 54 / 60 / 66 / 72 / 80 / 90 / 96 / 105 / 120 / 自動
- ・ 数字の単位は「point」です。
- ・ 「自動」の場合、指定されたテキストがページに収まるようサイズを自動調整します。

色

透かしテキストの文字色を設定します。

対角線上にする

チェックボックスが ON の場合、透かしテキストはページの左下から右上に向かって対角線上に挿入されます。「レイアウト」において、幅×高さの設定値が「中央」×「中央」の場合にのみ、設定が有効な状態となります。

レイアウト

- ・ 透かしとして挿入する図およびテキストの挿入位置を設定します。
- ・ テキストの場合、レイアウトが中央×中央のときに「対角線上にする」チェックボックスが設定可能な状態となります。

配置

挿入する透かしを本文の前面（本文より手前）に置くか、本文の背面（本文の奥）のいずれに置くかを指定します。

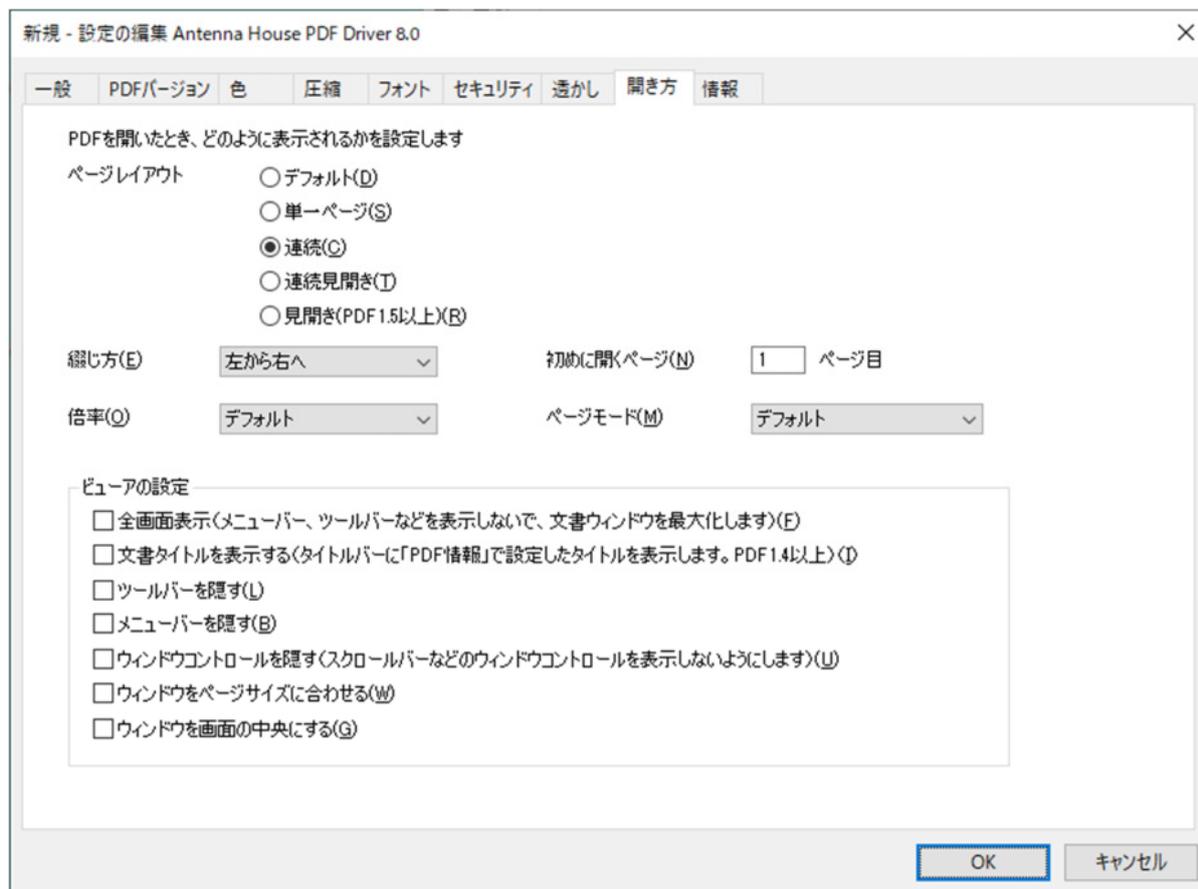
透明度（PDF1.4 以上）

- ・ 挿入する透かしの透明度を設定します。
- ・ 「PDF バージョン」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.4」以上を選択している場合に設定が有効な状態です。
- ・ バーを左端のもっとも薄い設定にした場合、透かしは画面表示上、あるいは印刷結果上、見えない状態となります。

表示方法オプション（PDF1.5 以上）

- ・ 透かしを印刷時に出力するか、画面表示時に出力するかを指定します。
- ・ 「PDF バージョン」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上を選択している場合に設定が有効です。
- ・ 「印刷時に出力」を ON、「画面で表示」を OFF にした場合、画面表示時には透かしは表示されず、印刷結果には透かしが存在する PDF ファイルが出力されます。
- ・ 「印刷時に出力」を OFF、「画面で表示」を ON にした場合、画面表示時には透かしは表示され、印刷結果には透かしが存在しない PDF ファイルが出力されます。

5.8. 開き方



ページレイアウト

デフォルト

PDF ビューアの設定に従います。

単一ページ

一度に文書の 1 ページ分を表示します。

連続

ページを縦に連続して表示します。

連続見開き

2 ページ目以降について、2 ページ分を横に並べ、縦に連続して表示します。

見開き (PDF1.5 以上)

2 ページ目以降について、一度に文書の 2 ページ分を表示します。

「PDF バージョン」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上を選択している場合に設定が有効な状態です。

綴じ方

- ・デフォルト
- ・左から右へ（左綴じ）
- ・右から左へ（右綴じ）

「デフォルト」の場合、PDF ビューアの設定に従います。綴じ方により、「ページレイアウト」で「連続見開き」「見開き」を選択した場合の表示時に偶数ページ、奇数ページの配置が変わります。

初めに開くページ

ファイルを開いたときに最初に表示するページ番号を指定します。

倍率

デフォルト

PDF ビューアの設定に従います。

全体表示

ページ全体がウィンドウに収まる倍率

幅に合わせる

ページの幅がウィンドウに収まる倍率

高さに合わせる

ページの高さがウィンドウに収まる倍率

100%

100%表示

ページモード

デフォルト

PDF ビューアの設定に従います。

ページのみ

ページのみが表示される状態

しおりパネルとページ

しおりとページが表示される状態

ページパネルとページ

ページサムネールとページが表示される状態

ビューアの設定

次の項目が設定できます。

- ・ 全画面表示
- ・ 文書タイトルを表示する
- ・ ツールバーを隠す
- ・ メニューバーを隠す
- ・ ウィンドウコントロールを隠す
- ・ ウィンドウをページサイズに合わせる
- ・ ウィンドウを画面の中央にする

5.9. 情報

The screenshot shows the 'Antenna House PDF Driver 8.0' settings dialog box, specifically the 'Information' tab. The window title is '新規 - 設定の編集 Antenna House PDF Driver 8.0'. The 'Information' tab is selected, and the main area is titled 'PDFファイルの情報を設定します'. Under 'PDF 情報', there are four input fields: 'タイトル(T)' with the value 'タイトル', 'サブタイトル(S)' which is empty, '作成者(A)' with the value 'アンテナハウス株式会社', and 'キーワード(K)' which is empty. Below these fields is a checkbox labeled '設定ファイル名をPDFに埋め込む(E)' which is currently unchecked. Under the heading '設定にコメントをつけることができます', there is a '設定のコメント' section with a 'コメント(C)' field containing the text '標準の設定です.'. At the bottom right of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

PDF 情報

設定された内容は、PDF の文書情報として出力されます。各項目において設定可能な文字数の上限は、半角英数字で 255 文字（2 バイト文字の場合は 127 文字）までです。これを超える場合、上限文字数以降を切り落とします。

設定ファイル名を PDF に埋め込む

チェックボックスが ON の場合、文書情報のカスタム領域内に「AHPD_SettingFileName」という独自のキーで設定ファイル名が埋め込まれます。

設定のコメント

設定ファイルの内容に関する説明を付けることができます。コメントの内容は、出力する PDF には影響を与えません。

6. PDF の規格

6.1. PDF/A について

「PDF/A」は、文書の長期保存を目的とした国際基準規格です。

PDF Driver では、PDF/A-1b、PDF/A-2b の出力に対応しています。

「PDF/A-1b (PDF1.4)」は、ISO 19005-1 のレベル B に準拠した規格です。

「PDF/A-2b (PDF1.7)」は、ISO 19005-2 のレベル B に準拠した規格です。

出力仕様の違いについては以下の表をご参考ください。

PDF/A-1b	PDF/A-2b
フォントはすべて埋め込まれなければならない	フォントはすべて埋め込まれなければならない
XMP 準拠のメタデータを含んでいなければならない	XMP 準拠のメタデータを含んでいなければならない
パスワードや印刷制限、変更制限などセキュリティを設定してはならない	パスワードや印刷制限、変更制限などセキュリティを設定してはならない
LZW 圧縮してはならない	LZW 圧縮してはならない
透明な画像を含んではならない	透明な画像を含めてよい
外部コンテンツを参照してはならない	外部コンテンツを参照してはならない
JavaScript を含めてはならない	JavaScript を含めてはならない
ファイルを添付してはならない	ファイルを添付してもよい。ただし、PDF/A に準拠したファイルのみ可
JPEG2000 圧縮してはならない	JPEG2000 圧縮してもよい
オプションコンテンツ (レイヤー) を含めてはならない	オプションコンテンツ (レイヤー) を含めてもよい

※ 異なる点

6.2. PDF/X について

「PDF/X」は、円滑な印刷工程を実現するための印刷用データ交換を目的とした国際標準規格です。

PDF Driver では、ISO 15930 で規定された

PDF/X-1a:2001 (PDF1.3)

PDF/X-1a:2003 (PDF1.4)

PDF/X-3:2002 (PDF1.3)

PDF/X-3:2003 (PDF1.4)

ISO 15930-7:2008 で規定された

PDF/X-4:2008 (PDF1.6)

の出力に対応しています。

出力仕様の違いについては以下の表をご参考ください。

	PDF/X-1a	PDF/X-3	PDF/X-4
文書情報の「タイトル」を設定する	必須	必須	必須
CMYK、スポットカラーをサポートする	○	○	○
グレースケールをサポートする	○	○	○
RGB をサポートする	×	○	○
出力インテントが指定されていなければならない	○	○	○
出力インテントとして指定された ICC プロファイルを埋め込まなければならない	×	×	○
フォントはすべて埋め込まなければならない	○	○	○
パスワードや印刷制限、変更制限などセキュリティを設定してはならない	○	○	○
透明をサポートする	×	×	○
外部コンテンツを参照してはならない	○	○	○
しおり等のアクションや JavaScript を含めてはならない	○	○	○
リンクや注釈などを含めてはならない	○	○	○

7. Microsoft Office アドイン機能について

※ 本機能は、OEM ライセンスではオプションとなります。

7.1. Office アドイン機能の概要

PDF Driver には、Microsoft Word、Excel、PowerPoint のアドイン機能（PDF Driver Office アドイン）があります。PDF Driver インストール時にアドイン機能の登録を行うと、各 Office アプリケーションにアドインボタンが表示されます。

アドインからの PDF 出力では、見出しや文中のリンクが PDF ファイルに反映されます。

PDF Driver Office アドインには、2 個のアドインボタンがあります。

ボタン名	機能
PDF 変換	ボタンをクリックすると PDF 出力が開始されます
PDF 設定	ボタンをクリックするとアドインオプション設定ダイアログが表示されます。

7.2. 対応アプリケーション

PDF Driver Office アドインが対応している Office アプリケーションとバージョンは次の通りです。

Microsoft Word 2013 / 2016 / 2019 / 2021 日本語版

Microsoft Excel 2013 / 2016 / 2019 / 2021 日本語版

Microsoft PowerPoint 2013 / 2016 / 2019 / 2021 日本語版

7.3. アドインボタンの場所

Word/Excel/PowerPoint の各アプリケーションにおいては、アドインボタンはリボン名「アンテナハウス」に登録されます。



アドインボタンの表示イメージ (Word2019 の場合)

7.4. アドインボタンの登録と解除

PDF Driver をインストール後にアドインボタンの登録や解除を行う場合は、Windows のスタート - プログラムメニューから操作します。

登録： [Antenna House PDF Driver 8.0] - [Office アドインの登録]

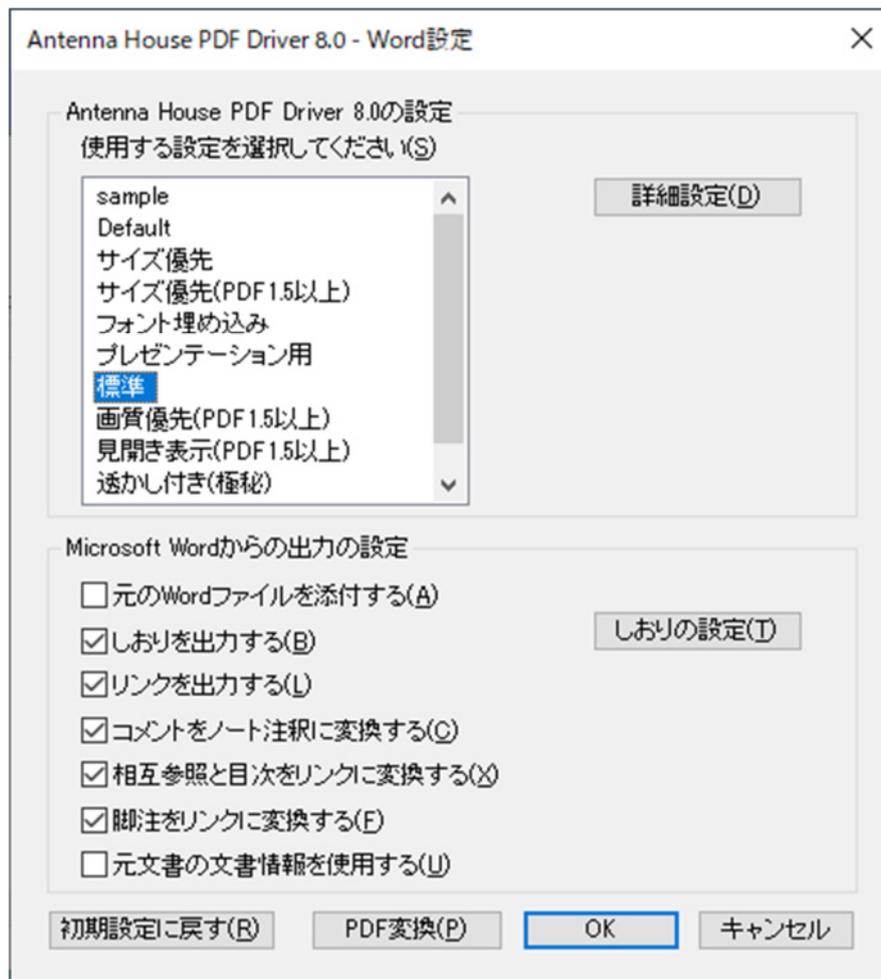
解除： [Antenna House PDF Driver 8.0] - [Office アドインの解除]

スタート画面に登録される「Office アドインの登録」、「Office アドインの解除」がそれぞれ登録、解除を行うボタンです。スタート画面にボタンが存在しない場合は、「すべてのアプリ」を開き、「Antenna House PDF Driver 8.0」グループにある「Office アドインの登録」、「Office アドインの解除」から操作してください。

※ Office アドインの登録や解除を実行すると「ユーザー アカウント制御」ダイアログが表示されます。表示された場合は「はい」をクリックして許可し、お進みください。管理者権限以外のグループのユーザーで実行した場合には、管理者権限を持ったユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

7.5. Office アドインの設定オプションについて

7.5.1. Word



Antenna House PDF Driver 8.0 の設定

PDF Driver の印刷設定を選択します。一覧には、PDF Driver の印刷設定に登録されている設定名が表示されます。設定を編集する場合は、「詳細設定」ボタンをクリックし印刷設定ダイアログを開いてください。

元の Word ファイルを添付する

印刷元の Word ファイルが出力 PDF ファイルに添付されます。

しおりを出力する

見出しをしおりとして出力します。「しおりの設定」で、しおりとして出力する見出しの種類や表示倍率などが設定できます。

リンクを出力する

文中のハイパーリンク（URL へのリンク、ドキュメント内の別ページへのリンク、電子メールアドレス）がリンク注釈として PDF ファイルに反映されます。

コメントをノート注釈に変換する

文中のコメントがノート注釈として PDF ファイルに反映されます。

相互参照と目次をリンクに変換する

文中の相互参照、目次がリンク注釈として PDF ファイルに反映されます。

脚注をリンクに変換する

文中の脚注がリンク注釈として PDF ファイルに反映されます。

元文書の文書情報を使用する

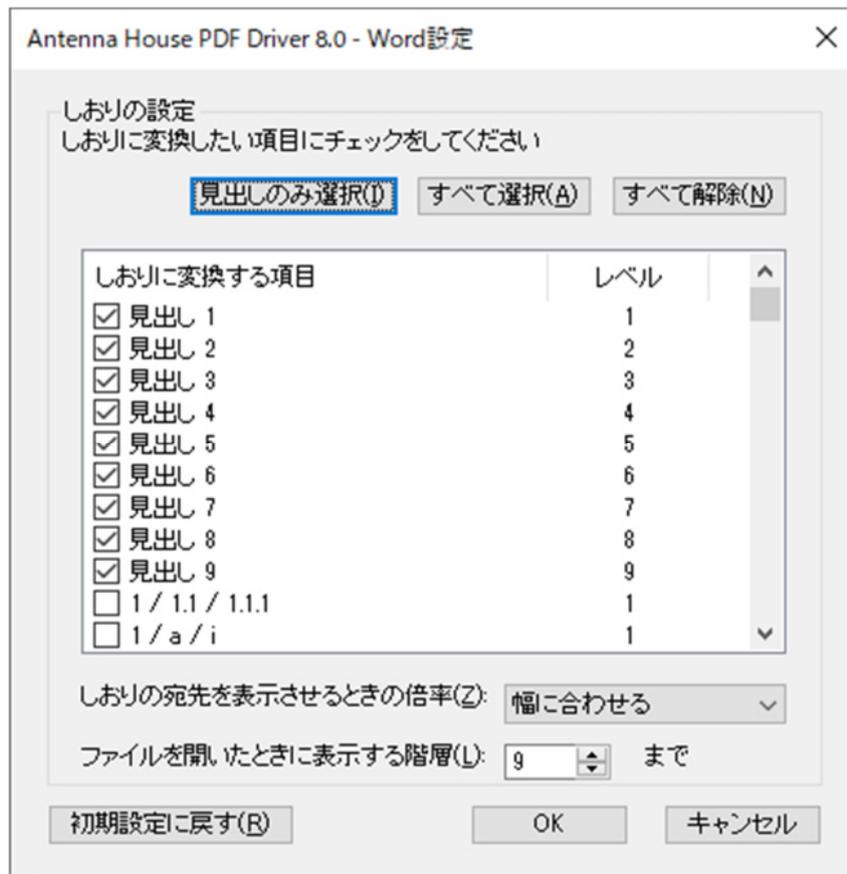
元文書のプロパティに設定されている内容を PDF の文書情報として PDF ファイルに反映されます。このオプションを選択しているときは、PDF Driver の「情報」タブの設定は PDF ファイルに反映されません。

初期設定に戻す

各項目の設定値をインストール時の初期値に戻します。

PDF 変換

PDF への出力が開始されます。



しおりの設定

PDFのしおりとして出力する見出しの選択、表示倍率、展開表示するしおりの階層レベルを設定します。

見出しのみ選択

Wordにあらかじめ用意されているスタイル「見出し 1」～「見出し 9」をしおりへの出力対象とします。ボタンをクリックして選択すると、一覧の「見出し 1」～「見出し 9」の先頭のチェックボックスにチェックが入ります。

すべて選択

一覧に表示されているすべてのスタイルをしおりの出力対象とします。

すべて解除

一覧のチェックボックスのチェックをすべてはずします。

しおりの宛先を表示させるときの倍率

以下から選択します。

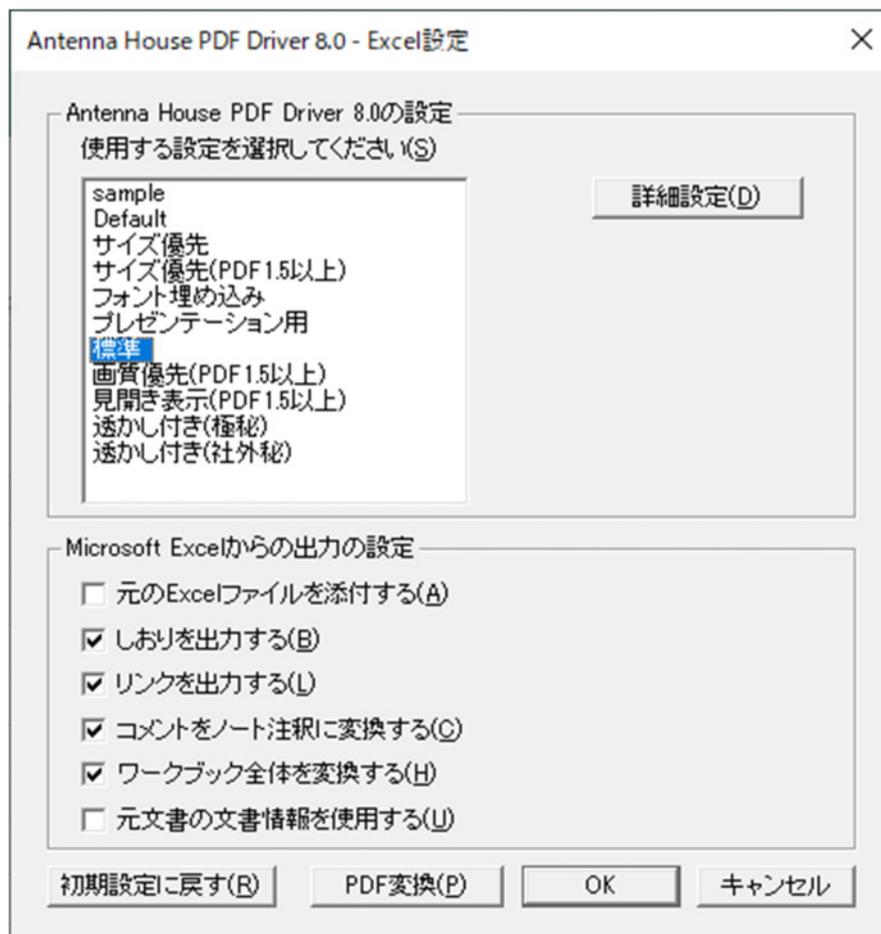
- ・ズーム設定維持（そのときの表示倍率を維持したまましおりの宛先を表示します）

- ・幅に合わせる
- ・高さに合わせる
- ・全体表示

ファイルを開いたときに表示する階層

PDF ファイルを開いたときの初期表示において、展開表示するしおりの階層を指定します。

7.5.2. Excel



Antenna House PDF Driver 8.0 の設定

PDF Driver の印刷設定を選択します。一覧には、PDF Driver の印刷設定に登録されている設定名が表示されます。設定を編集する場合は、「詳細設定」ボタンをクリックし印刷設定ダイアログを開いてください。

元の Excel ファイルを添付する

印刷元の Excel ファイルが出力 PDF ファイルに添付されます。

しおりを出力する

ワークシート名をしおりとして出力します。

リンクを出力する

文中のハイパーリンク（URL へのリンク、ドキュメント内の別ページへのリンク、電子メールアドレス）がリンク注釈として PDF ファイルに反映されます。

コメントをノート注釈に変換する

文中のコメントまたはメモがノート注釈として PDF ファイルに反映されます。

ワークブック全体を変換する

文書内のすべてのワークシートを PDF ファイルに出力します。このオプションを選択しない場合は、最前面に表示されているワークシートのみが PDF ファイルに出力されます。

元文書の文書情報を使用する

元文書のプロパティに設定されている内容を PDF の文書情報として PDF ファイルに反映されます。このオプションを選択しているときは、PDF Driver の「情報」タブの設定は PDF ファイルに反映されません。

初期設定に戻す

各項目の設定値をインストール時の初期値に戻します。

PDF 変換

PDF への出力が開始されます。

7.5.3. PowerPoint



Antenna House PDF Driver 8.0 の設定

PDF Driver の印刷設定を選択します。一覧には、PDF Driver の印刷設定に登録されている設定名が表示されます。設定を編集する場合は、「詳細設定」ボタンをクリックし印刷設定ダイアログを開いてください。

元の PowerPoint ファイルを添付する

印刷元の PowerPoint ファイルが出力 PDF ファイルに添付されます。

しおりを出力する

各スライドのタイトルをしおりとして出力します。

リンクを出力する

文中のハイパーリンク（URL へのリンク、ドキュメント内の別ページへのリンク、電子メールアドレス）がリンク注釈として PDF ファイルに反映されます。

元文書の文書情報を使用する

元文書のプロパティに設定されている内容を PDF の文書情報として PDF ファイルに反映されます。このオプションを選択しているときは、PDF Driver の「情報」タブの設定

は PDF ファイルに反映されません。

初期設定に戻す

各項目の設定値をインストール時の初期値に戻します。

PDF 変換

PDF への出力が開始されます。

7.6. Office アドイン機能の制限事項

- (1) Word 文書において「変更履歴の記録」が付与されている場合、見出しの PDF しおりへの変換などが正しく処理されない場合があります。その場合、Word 文書において変更履歴を「承諾」する処理を行い、変更履歴の記録を停止した状態でアドイン変換を行ってください。
- (2) PDF のリンクとして出力されるハイパーリンクは以下の種類です。
 - ・ 文書内の別ページへ移動するリンク
 - ・ URL へのリンク
 - ・ 電子メールアドレス
- (3) 文書内を移動するリンク、URL リンク以外のハイパーリンクについては、リンク情報が正しく出力されない場合があります。
- (4) 以下のようなハイパーリンクを含む文書を PDF 出力すると、ハイパーリンクの指定範囲（＝リンク枠の位置）が不正になることがあります。
 - ・ 改行を含む文字列にハイパーリンクの指定がある場合
 - ・ 縦書き文書内でハイパーリンクを指定した場合
 - ・ ハイパーリンクを付加した Word アートや図形に「折り返しの種類と配置」機能等を加えた場合
 - ・ HTML のブラウザでの表示結果を Word に貼付した場合
 - ・ Word 文書内の画像やオートシェイプに設定されたハイパーリンク
- (5) Excel ファイルのシートにおいて印刷範囲が設定されている場合は、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。
- (6) Excel ファイルのシートにおいてヘッダに印刷タイトルとして「行」「列」タイトルが指定されている場合、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。
- (7) Excel ファイルにおいて保護シートが存在する場合は、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。
- (8) Excel ファイルにダイアログシートが含まれている場合、ダイアログシートより後ろのシートに対しては、しおりやリンクの出力、コメントの注釈の作成はできません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。

- (9) 印刷設定の PDF バージョンが PDF/A あるいは PDF/X のとき、「コメントをノート注釈に変換する」設定でアドイン変換を実行した場合は、印刷途中で失敗するため PDF ファイルが出力されません。
- (10)印刷設定の PDF バージョンが PDF/A のとき、「元の Word/Excel/PowerPoint ファイルを添付する」設定でアドイン変換を実行した場合は、印刷途中で失敗するため PDF ファイルが出力されません。
- (11)印刷設定の PDF バージョンが PDF/X のとき、「元の Word/Excel/PowerPoint ファイルを添付する」、「リンクを出力する」、「相互参照と目次をリンクに変換する」、「脚注をリンクに変換する」設定でアドイン変換を実行した場合は、出力される PDF ファイルは PDF/X の仕様の範囲外となります。
- (12)PowerPoint アドイン変換において、表の中の文字列に設定されたハイパーリンクを PDF のリンク注釈として正しく出力できません。
- (13)Word 文書上に隠し文字が存在する場合、しおりやリンクは作成されません。
- (14)Word 文書において、図形内の見出しはしおりに変換されません。
- (15)Excel の HYPERLINK 関数によるリンクは PDF のリンクに変換されません。

8. 商標と著作権情報

8.1. 商標情報

Adobe、Acrobat、および Reader は、アドビ システムズ社の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、OpenType は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

TrueType は米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。

その他記載されている全ての会社名および製品名は、個々の所有者の登録商標または商標です。

8.2. 第三者製ライブラリー著作権情報

- libtiff

Silicon Graphics has seen fit to allow us to give this work away. It is free. There is no support or guarantee of any sort as to its operations, correctness, or whatever. If you do anything useful with all or parts of it you need to honor the copyright notices. I would also be interested in knowing about it and, hopefully, be acknowledged.

The legal way of saying that is:

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY

WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

- zlib

(C) 1995-2017 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly
jloup@gzip.org

Mark Adler
madler@alumni.caltech.edu

- BOOST

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization

obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- picojson

Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.

Copyright 2011-2014 Kazuho Oku

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- POCO C++ LIBRARIES

THE BOOST SOFTWARE LICENSE 1.0

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

※その他、インストールフォルダ内のドキュメントをご参照ください。

履歴

日付	修正内容
2019.12.1	・初版
2020.10.14	<ul style="list-style-type: none"> ・「5.2.PDF バージョン」の「PDF のバージョン」項に注意点を追記しました。 ・「5.4.圧縮」の「ダウンサンプリング」項に注意点を追記しました。
2020.11.2	・「6.PDF の規格」の説明を修正しました。
2021.2.16	<ul style="list-style-type: none"> ・「2.2.制限事項」に透かしについて2項追加しました（リストの最後）。 ・「5.7.透かし」の「図の選択…」の説明を修正しました。 ・「6.PDF の規格」の表を修正しました。
2021.7.12	・「1.2.動作環境」を修正しました。
2021.8.13	<ul style="list-style-type: none"> ・「5.2.PDF バージョン」の「PDF のバージョン」の項、「5.3.色」の「グレースケール」「モノクロ」の各項、「5.7.透かし」の「図」の項の注意書き（※で始まる説明）を修正しました。「PDF のバージョン」がPDF/AあるいはPDF/Xの場合、グレースケールまたはモノクロへの変換が行われるよう修正しました。
2021.9.21	<ul style="list-style-type: none"> ・「2.2.制限事項」に1項、追加しました。 ・「5.4.圧縮」の「圧縮方法（カラー／グレースケール）」の「JPEG2000」項の説明文を修正しました。
2021.11.30	・「6.PDF の規格」の出力仕様の違いの表を修正しました。
2021.12.8	・「2.2.制限事項」を修正しました。
2022.3.29	・「5.6.セキュリティ」のPDFバージョンと暗号化レベルの表を修正しました。
2022.4.21	・Office2021に対応しました。
2022.5.2	・制限事項の1項めを追記しました。
2023.3.28	・制限事項に2項追記しました。
2023.6.9	<ul style="list-style-type: none"> ・「9.2.第三者製ライブラリー著作権情報」に「POCO C++ LIBRARIES」の項を追加しました。改訂12（8.0.12.0）以降で使用しています。
2023.11.15	<ul style="list-style-type: none"> ・「1.2.動作環境」の表の欄外の注意書きに「※2」を追加しました。 ・「2.2.制限事項」を修正しました。 ・「7.6.Office アドイン機能の制限事項」を修正しました。 ・「8.Microsoft Internet Explorer アドオン機能について」項は Internet Explorer の終了により削除しました。

Antenna House PDF Driver V8.0
プリンター操作説明書 2023.11.15

© Antenna House Inc. 2019-2023 All Rights Reserved.